

年 報

2022 年度（令和 4 年度）

No.25

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	9
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	17
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 令和4年度の主な事業実績	19
II 展 示	20
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	37
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 考古学セミナー	
5 近世史セミナー	
6 講習会	
7 各種講習会・イベント	
8 展示解説	
9 学校との連携	
10 博物館実習	
11 インターンシップ	
12 職場体験学習	
13 サークル育成活動	
14 ボランティア活動	
15 博物館関係職員等研修会	
16 出前講座	

IV	共催事業等	57
V	出版	58
1	長野県立歴史館たより	
2	研究紀要	
3	その他	
VI	閲覧・情報提供	60
1	図書等資料	
2	情報提供	
VII	調査研究	61
1	調査研究の体制と内容	
2	学芸研究会	
3	時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	63
1	資料収集の方針	
2	展示資料	
3	考古資料	
4	文献史料	
IX	広報	70
1	広告・案内	
2	記事・報道	
資料		
I	資料利用	77
II	閲覧利用・情報利用	77
III	利用者	77
IV	収蔵史資料数	81
日誌		83

一 概 要

1 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63）4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元）7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2）10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
1990年（平成2）11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3）4月……開館準備専任職員配置
1991年（平成3）5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4）9月24日…起工式
1994年（平成6）5月……建設工事完成
1994年（平成6）8月……展示工事完成
1994年（平成6）11月03日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
11月 資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）。

7月 夏季企画展「絵図にみる信濃—江戸時代の村や町—」

8月 特別展示「終戦日8月15日と長野県民」

10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施。

7月 夏季企画展「縄文人の一生—北村遺跡に生きた人びと—」

10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃—掘り出された地方行政と暮らし—」

1997年1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施。

7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会—明治期における長野県と世界の交流—」

8月 長野県立歴史館ホームページ開設

10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化—シルクの歴史と文化—」

1998年1月 館蔵品展

3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

6月 屋代木簡特別展示

7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具—古墳時代の武人のすがた—」

10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。
歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展
- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年特別展「信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡－江戸時代 信濃の科学技術－」
- 11月 開館5周年記念式典挙

2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器・里帰りした信州の出土品－重文新指定御代田町川原田遺跡出土品とその周辺－」

2000（平成12）年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画

- 7月 木曾セミナー
- 7月 夏季企画展「千曲川歴史紀行－ともに生きた人びとの記録－」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち－信濃古道をたどる－」
- 12月 長野県人権啓発センター開所（講堂棟）
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」（共催事業）
- 3月 ホームページ全面更新 独自ドメイン（www.npmh.net）取得

2001（平成13）年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう－十九世紀北信濃の文芸ネットワーク－」
- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」（共催事業）

2002（平成14）年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と問宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」（共催事業）

2003（平成15）年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館として初めてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増加となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOS ふるさと文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」同時開催「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

2004（平成16）年度

開館10周年の節目の年に当たり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い 人びとの祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2004」(共催事業)

2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀ーGHQ 接收刀剣の輝きー」

7月 夏季企画展「地下4mの「縄文伝説」ー屋代遺跡群 愛と出会いの4千年ー」飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか

10月 秋季企画展「信州舞台物語ー団十郎も須磨子もやってきたー」

11月 特別公開「六角木幢ー極楽浄土への道しるべー」(共催事業)

2006年1月 特別公開「雛人形と難道具ー身だしなみとよそおいー」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2006」(共催事業)

2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代ー神津猛・米山一政資料を中心にー」

7月 夏季企画展「幕末の信州ー時代を駆けた草莽たちー」

9月 秋季企画展「戦時下の子どもたちー信州の十五年戦争ー」

11月 「信州の歴史遺産Ⅰー新指定長野県宝と歴史館のお宝ー」

2007年1月 冬季展「信濃の人形ーいのりと願いー」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2007」(共催事業)

2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007ー新発見考古資料速報展ー」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館2年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見ー長野県埋蔵文化財センター25年の歩みからー」

7月 夏季展「絵地図の魅力ー私の城下町ー」

9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007ー新発見考古資料速報展ー」

10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」前期・後期

2008年1月 冬季展「信濃の人形展ー雛人形と郷土の人形ー」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2008」(共催事業)

2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

5月 春季展「うつわは語るー縄文から近世までー」

7月 夏季企画展「大庄屋って何?ー安曇郡・清水家文書の350年ー」

9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅱー長野県宝と歴史館のお宝ー」

2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2009」(共催事業)

2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰―流転と遍歴の勸化―」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜―歴史を記録した先人たち―」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う―信州弥生文化の確立―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ―諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’―」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2010」（共催事業）

2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
- 7月 夏季展「あの世への想い―日本人はどのように埋葬されてきたか―」
- 9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺―古代に創建された松本平の二つの寺院―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ―文字のちから 墨書土器から新聞の時代まで―」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2011」（共催事業）

2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝―かたりつがれた御家の由緒―」
- 7月 夏季企画展「激動を生きぬく―信濃武士市河氏の400年―」
- 9月 秋季企画展「観光地の描き方―浮世絵版画から観光パンフレットまで―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅴ―郷土のお宝『重文・県宝』を見よう―」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2012」（共催事業）

2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民―三つの大日向をたどる―」
- 7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
- 9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器1万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼道具から雛人形まで―」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「掘ってわかった信州の歴史 長野県の遺跡発掘 2013」（共催事業）

2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点を置いた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
- 6月 夏季企画展「信州の野球史―大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球―」
- 9月 秋季企画展「刃が語る信濃―武器、象徴、そして芸術へ―」
- 11月 冬季展「山国の水害―戊の満水と善光寺地震―」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州―パンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉―」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2014」（共催事業）

2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点を置いた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器

展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館藏品展「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」

9月 秋季企画展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季企画展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945―疎開・動員体験と上原良司―」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新―残された明治初期の町村地図―」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館藏品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全县から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画「長野県民の1945―疎開・動員体験と上原良司―」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史―発掘された木製品、樹木信仰にみる3万年の歴史―」

12月 冬季展「地図の明治維新―残された明治初期の町村地図―」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座 in 千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展・埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃国の城と城下町―発掘調査が謎を解く―」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年より74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道―失われた鉄道の軌跡―」

9月 秋季企画展「木曽の宝―文化の十字路―」

12月 冬季展「信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘 2017」

2017(平成29) 年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア 2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」は昨年に続き伊那(伊那文化会館)・安曇野(豊科郷土資料館)・佐久(浅間縄文ミュージアム)で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ(約5,300～5,100年前)における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曽地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日(土)を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料(「きそのぐわんしょ」)の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日(2.5時間×4日)、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト(『日常生活からひもとく信州』)を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー」

9月 秋季企画展「縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘 2018」

2018(平成30) 年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井淵の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！ー水辺の出会いー」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石ー先史社会の石材獲得と流通ー」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」

2019(令和元)年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日(土)から11月10日(日)まで実施した特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇所を展示した。入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所で開催しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期展開催に向けて多大な支援を頂いた。特別企画土偶展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化として、11月22日山梨県立考古博物館、同23日群馬県立歴史博物館と連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

4月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代ー長時・貞慶・秀政ー」

10月 特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」

後期展「中部高地の土偶ー暮らしに寄り添う小さな女神ー」

2020年3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

2020(令和2)年度

笹本正治館長は特別館長に役職を改め、引き続き館運営の指導にあたった。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月15日(水)から5月6日(水)、さらに延長して5月31日(日)までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については7月31日(金)まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で3回(3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曽・箕輪の3箇所で開催しいずれも好評であった。

6月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10月27日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した。

3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

7月 夏季企画展「地酒王国 信州」

9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」

2021年1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折ー伊那谷から世界へ」

3月 所蔵品展「至宝の名品ー学芸員のイチ押し 絵画工芸編ー」

2021(令和3)年度

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、9月3日(金)から9月12日(日)まで臨時休館せざるを得ない状況となった。学校見学や館主催の講座などは、昨年度からの人数制限や事前申込の対応を引き続き行い、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展については、コロナ禍での影響を受けつつも、資料選定や展示に工夫をして開催することができた。夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」は、県内すべての教育会の丹念な調査をもとにした新視点からの展示などを行い、日を迫うにつれ来館者が増加するなど高い関心呼んだ。秋季企画展「全盛期の縄文土

器」では、県外から借用した国宝・重要文化財の展示もあったが、それに劣らぬ県内縄文土器の魅力を発信することに重きを置いた。冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」も、本県ゆかりの人物に焦点をあてる目的で平成29年度より行っている企画展の一環であり、いずれも県立博物館として、本県の歴史を紐解き県民の文化に寄与することを考えての企画である。すべての企画展で展示図録が期間終了を待たずに完売するなど非常に好評であった。

講座は、信州学講座として歴史館で6回、出前講座として上田・安曇野(飯山は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)の2箇所で開催した上での実施であったが、いずれも好評であった。

11月には、県内自治体では昨年の千曲市に続いて2例目となる連携協定を、須坂市と締結した。これは当館の基本目標である「県内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割充実」活動の一環であり、具体的活動として11月21日を「須坂市民の日」に設定し、須坂市民観覧料無料、当館所蔵の須坂市関連資料の特別公開などを実施した。多くの須坂市民が来館した。今後は史資料の貸借や人的交流などを行う予定で、これを更なる連携強化を進める上でのモデルケースとしていきたい。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 絵画工芸編一」

7月 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 一創られた大陸の夢」

9月 秋季企画展「全盛期の縄文土器一圧倒する褶曲文一」

2022年1月 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 一師友とその時代」

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチオシ 考古資料編一 大地からのメッセージ」

2022(令和4)年度

臨時休館こそなかったが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きかった。当館の所在する長野圏域に最大の警戒レベル5が発出された際には、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止の対応としたが、その日数は、本年度開館日288日中144日に及んだ。これは、何より来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた結果である。

企画展については、コロナ禍における様々な影響を想定し、資料の借用を早くから計画的に行うなど工夫を重ね、すべて開催することができた。

夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」は、古文書・仏像などに加え、お堂まで展示し、展示室に修験の世界を体感できる空間を作り上げ、非常に好評であった。秋季企画展「諏訪と武田氏」は、本年が7年に一度の御柱祭開催という年、冬季企画展「高遠藩の遺産一最後の藩主が残したもの一」は、展示の中心をなした宮田村指定文化財が長野県宝に指定されるなど、タイムリーな展示となった。今年度の企画展は、佐久、諏訪、高遠といずれも県内地域を取り上げ、地元との連携をより深めることができた。県内博物館として、県内地域との連携、県民の文化向上は第一の使命であり、今後も、地域と結びつく活動をさらに続けていく。

当館主催の講座についても、新型コロナウイルス感染症対応として、人数制限・事前申込・検温・消毒などを講じた上で開催した。古文書講座では、募集開始2日で定数満杯になる講座があった。信州学講座や企画展講座でも、事前に定数に達するものが多く、いずれも好評であった。コロナ禍においても県民の学習意欲に変わるところはないばかりかむしろ高まったと感じるほどであった。

今後もこういった声に応えるべく、当館で行う企画展や県立歴史館講座の内容をさらに充実させると同時に、外部向けのお出かけ歴史館や職員出前講座、地域展などのアウトリーチ活動を広く周知することで、県立歴史館としての使命・役割を一層果たしていく。

「歴史館パートナーの日」として、6月11日に「Goolightの日」、1月21日に「KOAの日」を実施した。

近年、社会情勢の変化により、近世・近代文書の散逸が進んでいる。県民にとって重要な資料の散逸防止措置の一環として、クラウドファンディングに取り組んだ。12月16日から2023年3月15日までの90日間「武田晴信書状購入プロジェクト」を実施し、315万円の目標設定に対し334万円の寄付をいただいた。資料は令和5年度に購入し、県民への披露の機会を計画する予定である。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 考古資料編一 大地からのメッセージ」

7月 夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」

10月 秋季企画展「諏訪と武田氏」

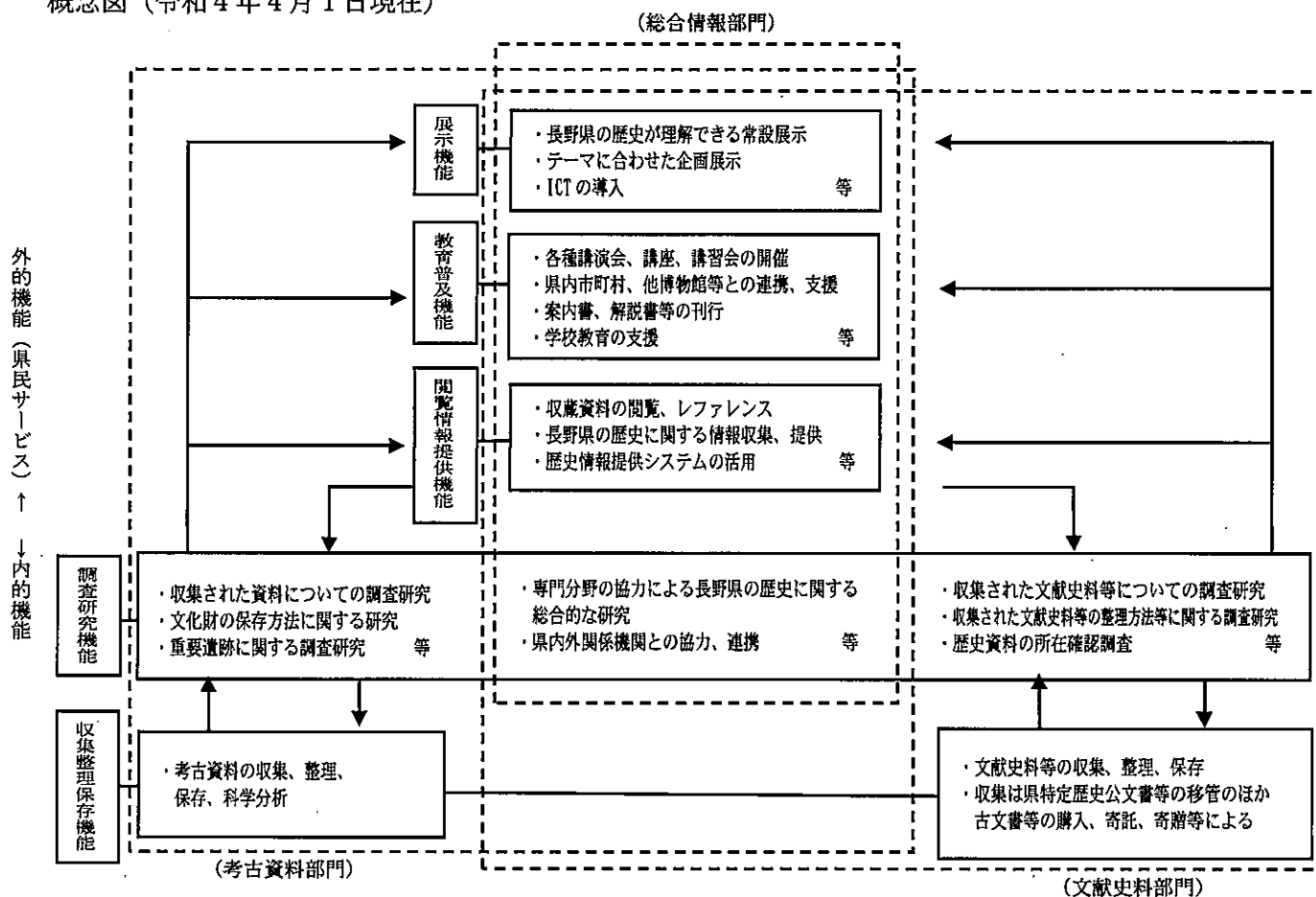
2023年1月 冬季企画展「高遠藩の遺産 一最後の藩主が残したもの一」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編 一読めなくても面白い一」

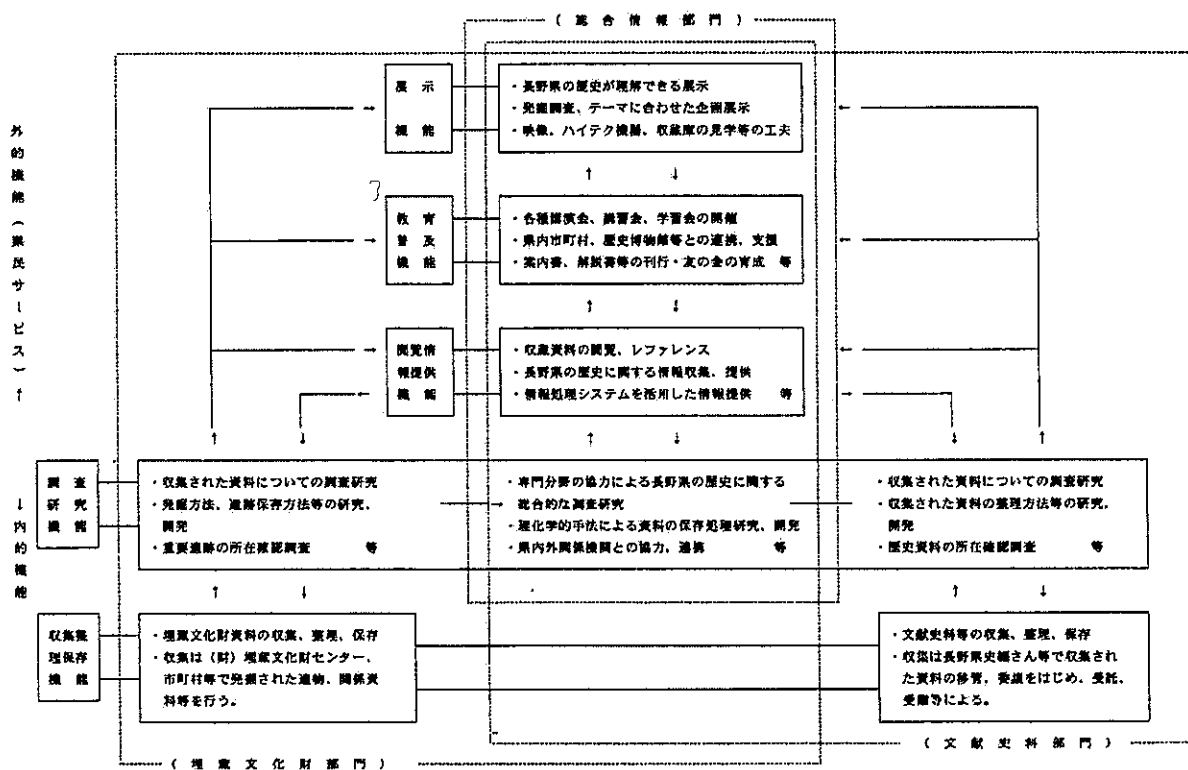
II 機能・組織・運営

1 機能

概念図（令和4年4月1日現在）



<参考> 県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）



建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。

エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、

受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m²

（用途別内訳）

建物面積 6,500 m²程度

駐車場 4,500 m²程度

外構面積 6,500 m²程度

屋外展示 2,000 m²程度

6 施設の概要

建築面積 6,500 m²程度

延べ床面積 10,000 m²程度

（部門別内訳）

総合情報部門 3,100 m²程度

埋蔵文化財部門 2,750 m²程度

文献史料部門 1,850 m²程度

管理部門 2,300 m²程度

7 建設計画

平成4年 着工

平成5年 完成

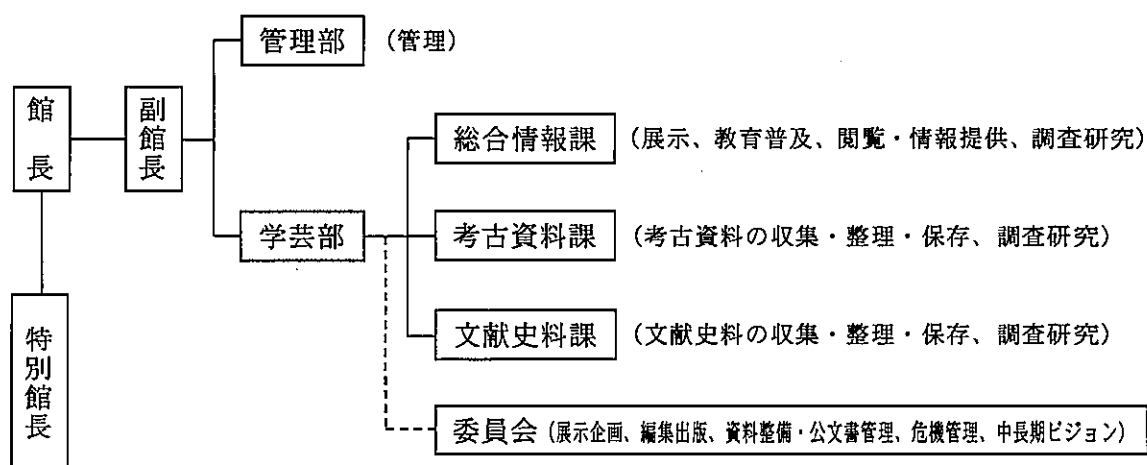
平成6年（春）開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図（令和4年4月1日現在）



県立歴史館協議会（条例設置）

県立歴史館資料委員会（要綱設置）

県立歴史館資料調査員（要綱設置）

○事務分掌

部 課		分 掌 事 務
学 芸 部	管 理 部	(1) 庶務及び会計に関すること。 (2) 組織及び人事に関すること。 (3) 施設、設備の維持管理に関すること。
	総 合 情 報 課	(1) 歴史的資料（考古資料及び文献史料を除く。）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 歴史に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること。 (4) 各種刊行物の編集及び出版に関すること。
	考 古 資 料 課	(1) 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 考古資料の保存処理及び科学分析に関すること。 (3) 考古資料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (4) 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること。
	文 献 史 料 課	(1) 文献史料（古文書、行政文書等）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 文献史料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること。

3 運 営

(1) 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集・保存・調査研究し、展示・閲覧等により県民に公開・情報公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

また、令和4年4月の公文書管理条例施行に伴い、特定歴史公文書関係の諸業務に適切に対応する。

(2) 事業計画

ア 重点事業

- (ア) 施設・設備の更新、展示内容の見直しなど、館のリニューアルに向けた検討の推進
- (イ) 他地域博物館・県内市町村等と連携した事業の推進
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した安全・安心な館運営の推進

イ 史資料の収集・整理・保存

- (イ) 信州にゆかりのある史資料の収集、整理及び保存
- (ロ) 考古資料の整理、保存処理並びに保存及び科学分析
- (ハ) 長野県の公文書（特定歴史公文書を含む。）の整理及び保存

ウ 調査研究

- (ア) 今後の展示への反映を想定した長野県の歴史に関する調査研究
- (イ) 共同研究（高遠藩研究会、長野県行政文書研究会）

エ 史資料の公開・教育普及・閲覧

(ア) 展示の充実

a 常設展示（計画的な展示替え）

b 企画展示（名称は仮称）

(a) 所蔵品展「至宝の名品 考古資料編」 (b) 夏季企画展「山伏」

(c) 秋季企画展「諏訪と武田氏」 (d) 冬季企画展「高遠藩の遺産」

(イ) 学校見学の充実（解説・施設見学）

(ロ) 歴史関係講座の企画実施 ※遺跡探訪会はオンライン実施

信州学講座（歴史館6回、出前3回）、考古学講座（5回）、特設考古学講座（3回）、古文書講座（25回）、ティーンズ古文書講座（4回）、古文書フォローアップ講座（2回）

(ハ) 他団体との連携

a 県外博物館、県内市町村

b 長野県埋蔵文化財センター

c 信州大学

d 県内歴史諸団体（信濃史学会・県考古学会等）

e 長野県ケーブルテレビ協議会

f 「歴史館パートナーの日」（企業・自治体協賛）

(イ) 史資料の閲覧（展示資料・考古資料・古文書・特定歴史公文書等）

(ロ) 研修会の実施（考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会 等）

(ハ) 刊行物の発行（研究紀要、年報、史資料目録、歴史館たより 等）

(ニ) 体験学習及びイベントの開催（開館記念日、歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み 等）

(ホ) 歴史情報のマスコミへの発信（信毎コラム「しなの歴史再見」 等）

オ 閲覧・情報提供

(ア) 収蔵資料の閲覧、レファレンス

(イ) 歴史館ホームページを活用した情報提供

(ロ) 史資料の貸出し

カ 学校教育等の支援

(ア) 出前講座 (イ) おでかけ歴史館

(ロ) 地域連携展示

(ハ) 職場体験学習・インターンシップ

(ニ) 博物館実習

(ホ) 教職員研修

キ ボランティアの募集・育成

(3) 職員名簿（令和5年3月31日現在）

館長 塩沢 宏昭 ——— 特別館長 笹本 正治			
副館長 中野 亮一			
管理部長 塩沢 宏昭（兼）		学芸部長 中野 亮一（兼）	
管理部 担当係長 土屋 勝史 主 事 田村 真人 主 事 高橋 幸人 職 員 手島 良子 職 員 大日方恭子 職 員 丸山 洋子 職 員 関 麻里子	総合情報課 課 長 小野 和英 専門主事 黒川 稔 専門主事 河野 智枝 専門主事 内城 正登 専門主事 小林 寿英 主任・文化財専門員 柴田 洋孝 主任・学芸員 林 誠 専門主事 町田 勝則 主 事 飯島 公子 職 員 六川 成美 職 員 小松 亜紀	考古資料課 課 長 鶴田 典昭 専門主事 水澤 教子 主査・文化財専門員 石丸 教史 専門主事 白沢 勝彦 職 員 小林 伸子 職 員 半田 和廣 職 員 中山 直子	文献史料課 課 長 村石 正行 専門主事 大森 昭智 専門主事 花岡 康隆 専門主事 鈴木 実 職 員 宮下 啓一 職 員 北島 祥至 職 員 宮坂由紀夫 職 員 土屋 英夫 職 員 佐藤 敦 職 員 小山 麻里 職 員 水野 聖也 職 員 荒木 孝幸
(注)「職員」は「会計年度任用職員」			

(4) 長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏 名	役 職
植田 平	公募
浮貝 貴子	公募
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員
久留島 浩	国立歴史民俗博物館特任教授
後藤 芳孝	信濃史学会会長
佐藤 真耶	特定非営利活動法人エリアネット更埴理事
中澤 英治	千曲市森将軍塚古墳館館長
中村 孝子	千曲市立植生小学校教諭
三井 有奈	坂城町教育委員
矢島 宏雄	長野県考古学会副会長

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員（五十音順）

氏 名	役 職	分 野
浅倉 有子	上越教育大学特任教授	中世・(近世)
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東京大学史料編纂所准教授	中世
織田 顕行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員	民俗
原田 和彦	長野市立博物館学芸員	古代・中世

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
小須田基弘	佐久市・南佐久郡
牧野 和人	小諸市・北佐久郡
倉澤 正幸	上田市・東御市・小県郡
高見 俊樹	岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡
唐木 孝雄	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡
伊坪 達郎	飯田市・下伊那郡
遠山 高志	木曽郡
遠藤 正教	松本市・塩尻市・東筑摩郡
伊藤 信一	安曇野市・東筑摩郡
小林 茂喜	大町市・北安曇郡
飯島 千秋	千曲市・埴科郡
天野 義孝	須坂市・上高井郡
寺島 正友	中野市・下高井郡
西沢 安彦	長野市・上水内郡
小柳 義男	長野市・上水内郡
望月 静雄	飯山市・下水内郡

4 関係法規

長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

(職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第23条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

(使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

(使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

- (1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。
- (2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年3月20日条例第3号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)
- (2) 休日の翌日
- (3) 12月28日から翌年1月3日まで

(開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を観覧する場合にあっては長野県立歴史館観覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を観覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、観覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

(観覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの観覧を制限することができる。

- (1) 法令の定めるところにより公開ができないもの
- (2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの
- (3) 法人その他の団体に関する資料で、観覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの
- (4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの
- (5) 資料の整理が完了していないもの
- (6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの
- (7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により観覧

に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県教育委員会事務局及び学校以外の教育機関の組織に関する規則

昭和53年3月31日教育委員会規則第4号

【必要部分のみ抜粋】

第8節 歴史館

(業務)

第33条の2 長野県立歴史館は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等(第33条の4第3項において「歴史的資料」と総称する。)を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与することを業務とするところである。

(位置)

第33条の3 長野県立歴史館の位置は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、千曲市である。

(内部組織)

第33条の4 長野県立歴史館に、その事務を分掌させるため、管理部及び学芸部を置く。

2 管理部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 庶務及び会計に関すること。
- (2) 長野県立歴史館協議会の庶務に関すること。
- (3) その他学芸部の所管に属さないこと。

3 学芸部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 歴史的資料の展示及び閲覧に関すること。
- (2) 歴史に関する各種刊行物の編集に関すること。
- (3) 考古資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の保存処理及び保存科学に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (6) 文献史料(歴史的価値を有する文書その他の記録をいう。以下この項において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (7) 文献史料に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (8) 歴史的資料(考古資料及び文献史料を除く。次号において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (9) 歴史的資料に関する調査研究に関すること。
- (10) その他歴史に関する教育の普及、情報の収集及び利用者への提供並びに相談に関すること。

4 学芸部に、その事務を分掌させるため、課を置き、その名称及び分掌事務は、次の表のとおりとする。

名称	分掌事務
総合情報課	前項第1号、第2号及び第8号から第10号までの事項
考古資料課	前項第3号から第5号までの事項
文献史料課	前項第6号及び第7号の事項

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会設置要綱

(設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

(委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

(任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

(調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

(調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

(守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

(会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設

敷地面積 19,593 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

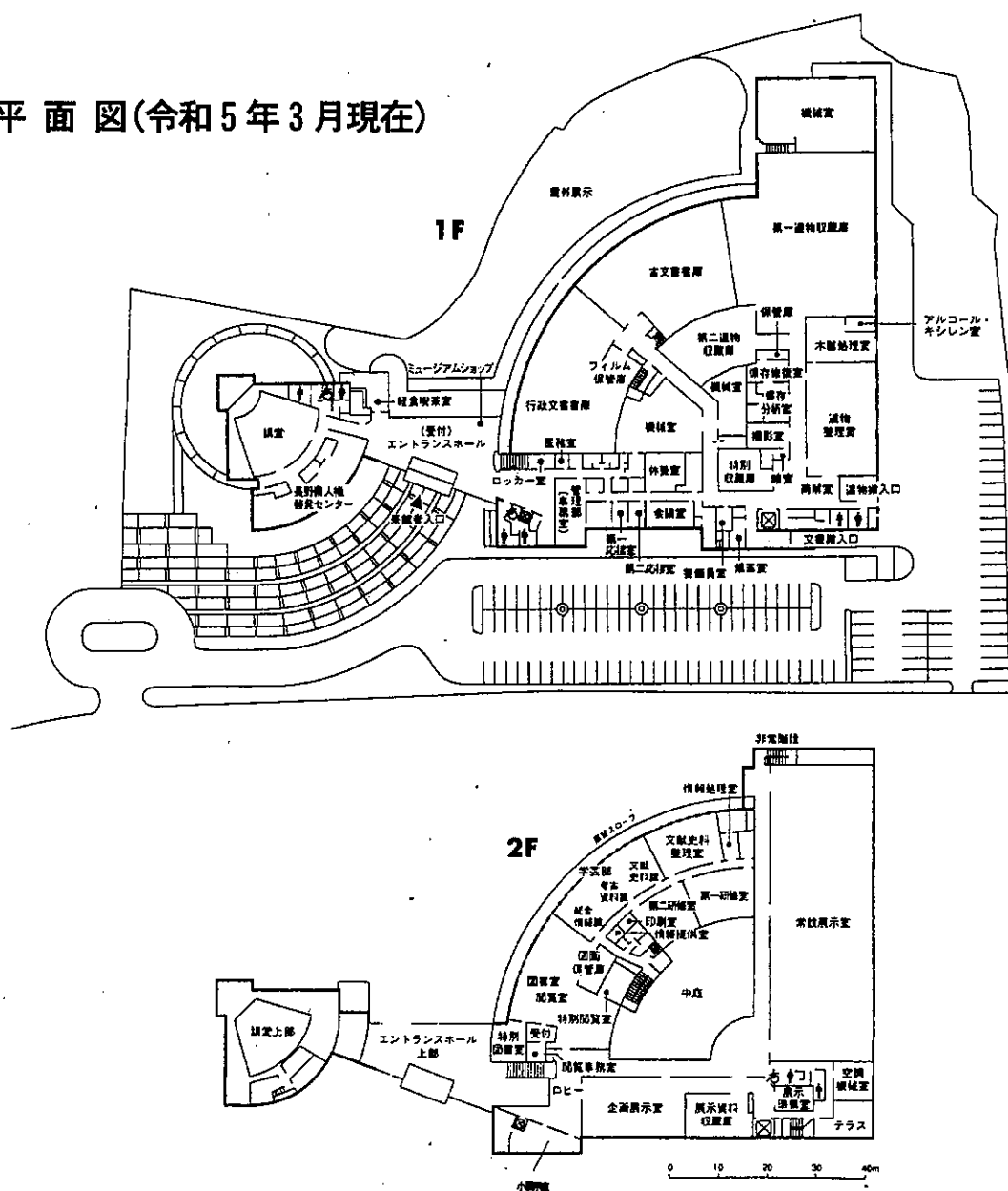
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図(令和5年3月現在)



2 諸 室

部 門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 芸 部 門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な史資料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

一 事業

I 令和4年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自主事業	常設展	年間(288日)	25,689	
	所蔵品展「至宝の名品 -学芸員のイチオシ 考古資料編-	(4月1日～6月12日)	6,658	7,439(3月～6月) -781(3月)
	夏季企画展「山伏 -佐久の修験 大井法華堂の世界-	7月9日～8月21日	4,078	
	秋季企画展「諏訪と武田氏」	10月8日～11月20日	5,287	
	冬季企画展「高遠藩の遺産 -最後の藩主が残したもの-	1月14日～2月26日	2,249	共催事業884人は地域展へ含む
	所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	3月18日～(3月31日)	657	
	企画展関連講演会等 8回実施(うち2回信州学講座兼)	7月～2月	545	
	県立歴史館の信州学講座 6回実施(うち2回企画展講座兼)	5月～3月	282	4講座分
	県立歴史館の信州学出前講座in諏訪・箕輪・大桑	9月～11月	77	
	考古学講座 8回実施・遺跡探訪会(オンライン実施)	4月～1月	313	特設考古学講座含む
	古文書講座 31回実施	5月～3月	774	ティーンズ、フォローアップ含む
	出前講座 39回実施	4月～3月	1,349	
	お出かけ歴史館 7回実施(小学校・公民館等)	8月～12月	188	
	各種講習会・イベント 15回実施	5月～3月	1,588	
	その他 史資料等の閲覧	4月～3月	1,513	
	考古学セミナー 2回実施	1月・2月	116	長野県考古学会
	近世史セミナー	12月	72	信濃史学会
	長野県史料保存活用連絡協議会講習会 3回実施	6・10・1月	103	県史料協
	古文書愛好会 読む会 8回実施 演習 23回実施 総会講演会・探訪会 発足20周年講演会	6～2月	759	古文書愛好会
共催事業等	教員免許状更新講習(本年度よりなし)		0	信州大学
	信州大学学芸員資格取得講座(博物館展示論・経営論)	9月・2月	35	信州大学
	博物館関係職員等研修会	2月	97	県博協
	長野県埋蔵文化財センター速報展	4～6月・3月	3,256	県埋蔵文化財センター
	長野県総合教育センター研修	7月	8	県総合教育センター
	地域展他連携展示(3町村・中部3県・団体等)	7月～12月	9,486	冬季企画展共催事業含
	計		65,179	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的、総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考れるものとする。

② 常設展示の方法

・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

新型コロナウイルス感染症対応として利用を停止していたが、一部再開した。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示

「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和4年4月～令和5年3月	ヒノキ立林、植生
	令和4年4月～令和5年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代（旧石器時代）の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和4年4月～令和5年3月	ナウマンゾウ模型（実物大環境復原）、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	令和4年4月～令和5年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡・大久保南遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和4年4月～令和5年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万6,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。約5,500～4,500年前の縄文中期、信州は列島最大規模の人口密集地となった。展示前半は草創期から早期、後半は前期・中期、そして後期の順に生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和4年4月～令和5年3月	隆起線文土器、草創期～早期の尖底土器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具（複製） 他
定住のはじまり	令和4年4月～令和5年3月	阿久遺跡土器・石器・装身具 他
華やかな土器文化と生業	令和4年4月～令和5年3月 (※令和4年12月～令和5年3月、十日町市博物館との相互貸借事業)	上木戸遺跡土器・垂飾品、郷土遺跡土器・土偶、屋代遺跡群動物・魚骨、土器・石器他 (※十日町市森上遺跡出土の火焰型土器)

寒冷化する環境の中で	令和4年4月～令和5年3月	国宝土偶「仮面の女神」（複製）、 北村遺跡土器・石器 他
縄文のムラ（環境復原）	令和4年4月～令和5年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植 栽・動物 他

中テーマ 稲をつくった弥生人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和4年4月～令和5年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・ 石器、森平遺跡石器、柴宮遺跡銅鐸 （複製）他
土偶の変容	令和4年4月～令和5年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土 器、松原遺跡人面付土器他

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。その力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和4年4月～令和5年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和4年4月～令和5年3月	松原1号墳大刀、馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	令和4年4月～令和5年3月	大室古墳（複製）、天冠（複製）、 帯金具（複製） 他

古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和4年4月～令和5年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和4年4月～令和5年3月	木製農具（鋤、鋤、杵、槌、えぶり）

糸里水田	令和4年4月～令和5年3月	グラフィックパネル
------	---------------	-----------

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東山道を結ぶ	令和4年4月～令和5年3月	藤原宮木簡（複製）、平城京木簡（複製）、長岡京木簡（複製）、信濃国印（模造）他
	令和4年4月～10月	皇朝十二銭、和同開珎（複製）、富本銭（複製）他
古代の布	令和4年11月～令和5年3月	屋代遺跡群出土木製品（布巻具・）・石製品（紡錘車）・金属製品（紡錘車）、正倉院白布・布袴（模造）他

中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	令和4年4月～令和5年3月	須恵器大甕、銅印（複製）、円面硯、帯金具、墨書土器
	令和4年4月～10月	榎田遺跡木棺墓出土土器、社宮司遺跡地鎮的遺構出土土器他
	令和4年11月～令和5年3月	吉田川西遺跡出土緑釉碗・緑釉皿・土師器皿（重要文化財）
	令和4年11月～令和5年3月	貞観寺田地目録（複製）、極楽寺鰐口（複製）他

中世 信濃武士と百姓のくらし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
------	------	--------

木曾義仲と荘園	令和4年4月～8月	源頼朝下文(複製)、源平合戦図屏風、平家物語図屏風、木曾義仲合戦図屏風
一所懸命	令和4年9月～11月	男衾三郎絵巻(複製)、斯波義将感状(複製)、二宮氏泰奉書(複製)
合戦図と武士の世界	令和4年12月～令和5年3月	軍扇、川中島合戦図屏風(複製)

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和4年4月～令和5年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵(複製)、一遍上人絵詞伝(複製)
鎌倉時代の善光寺門前 (実物大環境復原)	令和4年4月～令和5年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとり入れた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東アジアと信濃	令和4年4月～12月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図
太刀と刀	令和5年1月～3月	刀・脇差(銘信舎)他

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺参り	令和4年4月～10月	善光寺如来縁起(掛軸)、善光寺如来東漸録、善光寺土産絵図
城と城下町	令和4年11月～令和5年3月	松本城下町絵図(天保6年)、松本城二の丸跡出土品、打掛

正保信濃国絵図	令和4年4月～令和5年3月	正保の信濃国絵図（複製）、信濃国郷村帳（複製）
---------	---------------	-------------------------

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	令和4年4月～令和5年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	令和4年4月～令和5年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	令和4年4月～令和5年3月	ランドサット図
信州中馬	令和4年4月～令和5年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」
中山道福島宿	令和4年4月～6月	中山道福島宿絵図面（複製）・薬屋看板（複製）・木曾街道六十九次（複製）
庶民の旅	令和4年7月～令和5年3月	信州松本通見取絵図控（複製）、木曾街道六十九次、旅の装束

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達し、生活が豊かになっていった。本を購入し、本から学ぶことも増えた。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	令和4年4月～10月	化粧道具（化粧刷毛、化粧箱、携帯用鏡、柄鏡）、髪かざり（簀、簪）、

		婚礼の祝い膳（複製）
文書の世界の広がり	令和4年4月～10月	寺子屋教具類（携帯用硯、筆、筆巻）、寺子屋の手本類（孟子集註、論語集註）、書見台（模造）
各地の諏訪信仰	令和4年11月～令和5年3月	善光寺・武井神社正迂宮御柱行烈図、小野大明神御柱人足、諏訪社氏子木札、諏方宮国土罪昆虫猪鹿災除祓（御札）、諏方武大神（御札）
信州一之宮と御柱祭	令和4年11月～令和5年3月	信州一之宮寅申御柱祭礼之行列上・下、信濃国一宮諏方上社絵図、御柱御棧鋪之図、御柱之節御棧敷之図、信州一之宮諏方大明神御社内之図、諏訪大社御柱祭騎馬行列古図之写
祭りの人形芝居	令和4年4月～令和5年3月	黒田人形、映像「黒田人形『鎌倉三代記』」

近現代 世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとり入れた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	令和4年4月～令和5年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、筑摩県印鑑簿、筑摩県博覧会錦絵
お蚕さま	令和4年4月～令和5年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、蚕玉様の押絵
世界につながる蚕糸業	令和4年4月～令和5年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、シルクラベル
近代の製糸工場	令和4年4月～令和5年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、工女募集告諭書、横浜開港之図、操糸鍋
工女の生活	令和4年4月～令和5年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女

		の食事
近代の製糸工場（実物大環境復原）	令和4年4月～令和5年3月	ボイラー、水車、繰糸器
長野県の近代化遺産	令和4年4月～令和5年3月	近代化遺産写真パネル

中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	令和4年4月～令和5年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	令和4年4月～令和5年3月	出世双六、キューピー人形、たこ、戦争おもちゃ
戦前の観光信州	令和4年4月～令和5年3月	鳥瞰図『長野電鉄沿線温泉名所案内』 『諏訪大観』 ・観光パンフレット資料

中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃を受けた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	令和4年4月～令和5年3月	満州愛川村風景写真、黒台信濃村からの手紙、出陣日記、被弾した卓袱台、満州建設勤労奉仕隊募集要項 日本体操（やまとはたらき） 慰問品の缶詰ラベル、満洲更級郷開拓団の様子（スケッチ）陸軍3式戦闘機キ61「飛燕」模型 児玉勝子日記 昭和20年

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展

し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	令和4年4月～令和5年3月	扇風機、蓄音機、真空管式ステレオ、球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、木製冷蔵庫、電気冷蔵庫、ナショナルホームラジオ、4号電話機、オルゴール、腕時計、長野県の平成史パネル、

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

リース契約を更新した。昨年度、新型コロナウイルス感染症対応の影響で展示室から一時的に撤収していたが、感染対策（手指消毒用アルコールの設置）を講じ、再開。

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち		
中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	令和4年4月～令和5年3月	植栽

5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡 石棺墓の石組み
万葉の野	令和4年4月～令和5年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	令和4年4月～令和5年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

(3) 新規小テーマ

今年度はなし。

2 企画展示等

● 2022 年所蔵品展「至宝の名品ー学芸員のイチオシ 考古資料編ー 大地からのメッセージ」

令和 4 年（2022 年）3 月 19 日（土）～6 月 12 日（日）（開催日数 73 日間）

観覧者数 7,439 人

主催 長野県立歴史館

同時開催 長野県埋蔵文化財センター

速報展「掘るしん 2022」

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ（7 紙）・長野日報社・南信州新聞社・NHK 長野放送局・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・（一社）長野県ケーブルテレビ協議会・FM 長野・FM ぜんこうじ・屋代有線放送電話農業協同組合・（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

当館の収蔵資料を多くの皆さまに知っていただきたいと 2021 年から所蔵品を分野ごとに紹介している。2022 年は第 2 弾として、遺跡から出土した土器、石器、金属器、木器などの考古資料の中から、学芸員がイチオシする逸品を展示する。

〈主な展示資料〉

重要文化財 2 件：斧形石器・砥石（信濃町日向林 B 遺跡）、緑釉陶器・鏡（塩尻市吉田川西遺跡）

県宝 3 件：大型接合資料と石槍（佐久市下茂内遺跡）、動物付装飾付釣手土器（富士見町札沢遺跡）、木造六角法幢（千曲市社宮司遺跡）、

ほかに有舌尖頭器他（信濃町星光山荘 B

遺跡）、大木 9 式系土器（千曲市屋代遺跡群）、縄文人骨（安曇野市北村遺跡）、大陸系磨製石斧（長野市榎田遺跡・松原遺跡）、指輪形石製品・棗玉他（長野市松原遺跡・榎田遺跡）、丸木舟（長野市春山 B 遺跡）、赤漆塗り竪櫛（長野市松原遺跡）、銀象嵌大刀他（上田市陣馬塚古墳）、鉄鐸（塩尻市吉田川西遺跡・小諸市中原遺跡群）、瓦塔・埴仏（長野市篠ノ井遺跡群）、古瀬戸四耳壺他（坂城町観音平経塚） 展示総数 270 点

〈行事〉

オープニングセレモニー

3/18（金）15:30～15:50 展示室前

出席者 原田秀一長野県埋蔵文化財センター所長、久保友二文化財・生涯学習課長

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,100 枚

チラシ A4 判 両面カラー 21,000 枚

招待券 カラー 3,300 枚

〈担当〉

総合情報課 飯島公子 町田勝則

考古資料課 石丸敦史

文献史料課 花岡康隆

● 夏季企画展

「山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー」

令和 4 年（2022 年）7 月 9 日（土）～8 月 21 日（日）（開催日数 37 日間）

観覧者数 4,078 人

主催 長野県立歴史館

共催 佐久市・佐久市教育委員会

特別後援 奈良県天川村

後援 （公社）信濃教育会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市

民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ（7紙）、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、（一社）長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

当館へ寄贈された大井法華堂文書は、中世の修験道場として著名な大井法華堂に関わる中世文書40点を含む4400点余りの一大文書群である。修験道寺院の文書は、明治時代初期に修験が廃止されたことから、これだけの量がまとまって残ることは稀有であるといえる。

信濃国は山岳地帯で、古くから山岳信仰の盛んな地域で知られている。奈良時代の終わりから平安時代にかけて、山林で修行する僧によって広められた山岳信仰は、わが国の古代社会において独自の発展を遂げた信仰形態のひとつである。善光寺信仰や諏訪信仰も山岳信仰の影響を色濃く受けている。とくに厳しい自然環境を対象とした信仰は、やがて修験道へと展開していく。大井法華堂は鎌倉時代に、京都聖護院門跡を中心とする本山派の佐久・小県地方の修験の道場として認められている。

現在では余りなじみのない修験道という信仰を、自然への畏敬の念と共生を大切にする信仰として位置づけ、展示を通じて中世の地域信仰のようすをあきらかにする。また大井法華堂文書整理完了のお披露目展示会とする。

〈展示構成〉

《企画展示室》

プロローグ

一遍上人の佐久行脚

テーマ1 佐久の雄 大井氏

(1) 大井太郎

(2) 関東と大井氏

テーマ2 重要文化財 結城合戦絵詞

（国立歴史民俗博物館蔵）

(1) 役行者

(2) 浅間山信仰

(3) 聖護院門跡

テーマ3 修験と戦国大名

(1) 聖地の遺宝

(2) 修験のネットワークを利用した大名

テーマ4 江戸時代の大井法華堂

(1) 法華堂の仏具

(2) 院家勝仙院の配下

(3) 入峰

(4) 立ち寄った人々

エピローグ

関連展

《第2展示室》

西川かおり原画展「そこに根井(ねのい)氏がいた一木曾義仲・義高と仲間たち」

《通路》

那智参詣曼荼羅絵解き展

《エントランス》

企画展関連動画放映（天川村他）

〈主な展示資料〉

- ・一遍上人立像（複製 国立歴史民俗博物館蔵）
- ・一遍聖絵巻五（複製 当館蔵）
- ・遊行上人絵詞（東京国立博物館蔵）
- ・長野県宝 落合新善光寺旧蔵 大井太郎鑄造 善光寺式阿弥陀如来三尊像（大雄寺蔵）

- ・重要文化財 結城合戦絵詞（国立歴史民俗博物館蔵）
- ・長野市指定文化財 伝聖徳太子像（善光寺大本願蔵）
- ・木造役行者像（当館蔵）など
- ・佐久市定文化財 法華堂源宗先達職譲
- ・桑山左衛門三郎大夫譲状・法華堂源宗檀那譲状檀那譲状など（当館蔵）
- ・佐久市定文化財 聖護院道増寄進状・聖護院道増補任状（当館蔵）
- ・大峯信仰遺跡出土遺物・那智山信仰遺跡出土遺物（東京国立博物館蔵）
- ・武田晴信書状・山県昌景免状・上杉謙信書状（当館蔵）
- ・武田晴信より拝領した法螺貝（真田宝物館蔵）
- ・不動明王座像・宇賀神弁財天座像・宮形厨子など（当館蔵）
- ・東照宮扁額・東照宮安置神幣・勝仙院増堅書状（当館蔵）
- ・那智参詣図曼荼羅（高圓寺蔵）
- ・文化3年御入峰日記・御入峰行列記・初入峰勸化帳（当館蔵）
- ・和宮から拝領した履物・佐竹永海筆絵馬・法華堂源海日記（当館蔵）

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

7/8（金） 9:30～10:30 展示室前
出席者 関昇一郎長野県副知事、柳田清二佐久市長、大井岳夫県議会議員、荒井武志県議会議員、竹内正美県議会議員、西川かおり（漫画家）、山口輝文（戸隠観光協会会長）

(2) 講演会

①「江戸幕府の宗教政策と修験道」

7/16（土） 13:30～15:00 講堂
高埜 利彦氏（学習院大学名誉教授）
参加者 73人（定員80人、申込制）

②「天台宗寺門派聖護院門跡と山伏の

組織」

8/20（土） 13:30～15:00 講堂

徳永 誓子氏（岡山大学准教授）

参加者 66人（定員80人、申込制）

(3) 佐久市連携講座

「大井法華堂の歴史とその文化財」

7/19（火）・7/26（火）

会場 佐久市岩村田浅間会館ほか

内容 法華堂周辺巡見及び企画展見学

講師 文献史料課長 村石正行

参加者 7/19 34名・7/26 36名

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー 2,100枚

チラシ A4判 両面カラー23,000枚

招待券 カラー 3,500枚

図録 A4判 カラー136頁1,600部

〈担当者〉

文献史料課 村石正行 大森昭智

鈴木 実

総合情報課 黒川 稔

●秋季企画展

「諏訪と武田氏」

令和4年10月8日（土）～11月20日（日）

（開催日数37日間）

観覧者数 5,287人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、

読売新聞長野支局、毎日新聞長野支

局、産経新聞長野支局、中日新聞社、

長野市民新聞社、市民タイムス、市

民新聞グループ、長野日報社

南信州新聞社、NHK長野放送局、S

B C信越放送、NBS長野放送、T S

Bテレビ信州、a b n長野朝日放送、

（一社）長野県ケーブルテレビ協議会、

F M長野、F Mぜんこうじ、屋代有線

放送電話農業協同組合、（公財）八十

二文化財団

〈展示趣旨〉

今年、新型コロナウイルス感染防止のため様々な対応をしながら7年に1度の御柱祭が開催され、県内外から大変注目を集めている諏訪地域。歴史的には諏訪国があり、信濃国でも独自の文化を有した。その中心となったのが諏訪社（現在の諏訪大社）であったといえる。諏訪社の神を祀る神官は大祝「諏方氏」。大祝は生き神とされたが、退位すると武士として活躍した。鎌倉時代後期以降、中央政界でも活躍するようになり戦国時代には信濃を代表する領主となった。また、諏訪大社への信仰は信濃国全体への影響力を持っていた。隣接する甲斐国武田氏は諏訪社の神威を求めるとともに、信濃支配の大義名分や影響力、信濃支配のための情報を得るため、諏訪へ侵攻する。武田信玄・勝頼による大きな権力下で政治的な支配はもちろん、諏訪の信仰に対する保護を受けた諏訪地域では35年間にわたって戦のない時代が続くこととなった。

中世諏方氏が統治し、諏訪大社によって信濃国一帯に影響を持っていた諏訪、後に仏教徒として出家する武田信玄と諏訪信仰、自らを諏方氏の後継者と意識していた武田勝頼の諏訪支配と諏訪信仰について展示をおこなう。武田氏の権力も利用した諏訪信仰とともに発展してきた諏訪地域と、信仰心に篤いだけでなく神や仏の存在を巧みに利用しながら統治を進めていった武田氏とのかわりについて考える機会としたい。

〈展示構成〉

《企画展示室》

プロローグ 信玄侵攻までの諏訪と武田氏

一 諏訪頼満と武田信虎

二 諏訪頼重・武田信玄と関東管領

三 武田信玄の諏訪侵攻

第一章 信玄の統治を受けた諏訪

一 諏訪侵攻の大義名分

二 信玄と諏訪信仰

三 仏教徒としての信玄

第二章 戦における諏訪社と武田氏

第三章 勝頼の統治を受けた諏訪

エピローグ 語り継がれた諏訪と武田氏のつながり

《小展示室》

宮坂武男展～諏訪と武田氏に関する城郭鳥瞰図～

《企画展示室入口》

諏訪と武田氏に関する寺社仏閣写真展

〈主な展示資料〉

本小札紅糸威胴丸、御渡注進状控、下社春秋両宮御造宮帳、鉄鐸（複製）（諏訪市博物館蔵）

神使御頭之日記 天文十年条（写）、守矢頼真書留、諏方社祭祀再興武田信玄下知十一軸寫、武田信玄寄進状、武田晴信書状、武田信玄朱印状、武田家朱印状、武田晴信願文、武田晴信寄進状、武田晴信名字状、武田晴信定書（守矢早苗氏蔵、神長官守矢史料館管理）

武田晴信像（複製）、武田信玄公像（山梨県立博物館蔵）

八劔神社武田晴信寄進状（八劔神社蔵）

武田晴信判物（恵林寺蔵、信玄公宝物館保管）

諏訪明神像、諏訪神号旗、孫子の旗（裂石山雲峰寺蔵）

棟札（宮木諏訪神社蔵）

梵鐘（小野神社蔵）

鐸鉦（矢彦神社蔵）

諏訪法性兜（下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館蔵）

武田家朱印状、信濃国一宮諏方上社絵図、
下諏訪社図、刀 銘 信州諏訪住藤原信
舎、脇差 銘 信舎、歌川芳藤画 永禄
四年九月川中嶋大合戦、歌川貞秀画 信
州川中島合戦絵巻 乾（当館蔵）
川中島合戦絵図（個人蔵、当館寄託）

〈行事〉

（1）オープニングセレモニー

10/7（金）15:30～16:50 展示室前
出席者 尾島信久県教委教育次長、
守屋正彦山梨県立博物館長、宮坂清
八剣神社宮司

（2）講演会

①「武田氏と諏訪信仰」

10/15（土）13:30～15:00 講堂
笹本正治（長野県立歴史館特別館長）
参加者 106 名（定員 110 名、申込制）

②「中先代の乱と諏訪信仰について」

11/12（土）13:30～15:00 講堂
二本松康宏氏（静岡文化芸術大学教授）
参加者 85 名（定員 110 名、申込制）

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,100 枚
チラシ A4 判 両面カラー 22,000 枚
招待券 カラー 3,500 枚
図録 A4 判カラー80 頁 1,200 部

〈担当〉

総合情報課 内城正登 林誠 柴田洋孝

●冬季企画展

「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」

令和5年1月14日（土）～2月26日（日）（開
催日数37日間）

展示替え2月7日（火）（3カ所）

観覧者数 2,249人

主催 長野県立歴史館

共催 伊那市、伊那市教育委員会、宮田
村教育委員会

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総
局、読売新聞長野支局、毎日新聞長
野支局、産経新聞長野支局、中日新
聞社、長野市民新聞社、市民タイム
ス、市民新聞グループ（7紙）、長野
日報社、南信州新聞社、NHK長野
放送局、SBC信越放送、NBS長
野放送、TSBテレビ信州、abn
長野朝日放送、（一社）長野県ケー
ブルテレビ協議会、FM長野、FM
ぜんこうじ、屋代有線放送電話農業
協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

高遠城は、廃藩置県の翌年、1872（明
治5）年に取り壊され、城内に存在した建
物の多くは現存していない。高遠藩主内
藤家やその家臣たちが高遠を去る際、鎧
など多くの品じなを旧高遠藩藩領の神社
に残していったことが知られている。ま
た、2014（平成26）年から始まった宮田
村教育委員会や専門家の資料調査により、
宮田村小田切家に存在する稻荷社及び奉
納品類が、元もと高遠城内に存在した「厩
稻荷」の本殿・上家、及び、それに関す
る多数の奉納品類であったことが判明し
た。高遠藩は品じなを残すとともに、藩
校進徳館を創設し、伊澤修二など優秀な
人材を育て残していった。

令和4（2022）年は、高遠城が廃城とな
って150年目の節目の年となった。廃藩後、
高遠藩がどんなものを残し、どのような
人材を育み残していったのかをたどる企
画展として位置付けた。

〈展示構成〉

《企画展示室》

はじめに

第1章 高遠城と城郭図

第1節 幕末の高遠城

第2節 最後の藩主

第2章 内藤家が地域に残したもの

第1節 高遠城内の稲荷社

第2節 小田切家と厩稲荷

第3節 高遠藩からの拝領品

第3章 高遠藩の教育

第1節 高遠藩校・進徳館

第2節 輩出した人材

おわりに

《小展示室》

池上典氏 高遠城再現図・展景図展

「さくら物語」放映

《通路》

高遠町の発展—明治から昭和にかけて

伊那市と新宿区の交流展

《主な展示資料》

高藩探勝（伊那市指定有形文化財、伊那市立高遠町歴史博物館蔵）、高遠城下眺望図（当館蔵）、版籍奉還の勅許状（伊那市立高遠町歴史博物館蔵）、武井久平宛内藤頼直書付（個人蔵）、落原拾葉（伊那市指定有形文化財、伊那市立高遠町図書館蔵）、木乃下陰 附録（伊那市創造館蔵）、小田切家所蔵 高遠城二ノ丸厩稲荷奉納品類（獅子頭、洋太鼓、馬鈴、神社幕等）（宮田村指定有形文化財、個人蔵）、鎧兜一式（東高遠諏訪神社蔵、伊那市立高遠町歴史博物館寄託）、阪本天山肖像（伊那市立高遠町歴史博物館蔵）、五聖像 孔子（伊那市指定有形文化財、伊那市立高遠町歴史博物館蔵）、人物一覧表（伊那市立高遠小学校蔵）、教員集会願（特定歴史公文書・長野県宝、当館蔵）左十文字入り反物（個人蔵）、池上典氏 再原図・展景図（伊那市立高遠町

歴史博物館蔵）以上106点

《行事》

(1) オープニングセレモニー

1/13（金）展示室前

出席者：白鳥孝伊那市長、加藤孝志宮田村教育委員会教育長、星野正明伊那市立高遠小学校教諭、新井武志長野県議会議員、竹内正美長野県議会議員、今井義明長野県教育委員会教育次長

(2) 講座①

1/28（土）13：30～14：45 講堂

「内藤家が地元に残したもの」

講師：大澤佳寿子氏

（伊那市教育委員会）

参加者数：77名（定員80名、申込制）

(3) 講座②

2/18（土）13：30～14：45 講堂

「厩稲荷の奉納品」

講師：小池勝典氏

（宮田村教育委員会）

参加者数：68名（定員80名、申込制）

(4) その他

同時開催：「千曲川・梓川はこう変わった—江戸・大正の絵図地図が伝える—」

（歴史的水害史料活用研究会主催）

12/24（土）～3/9（木）まで展示

《印刷物》

ポスター B2判 片面カラー 2,100部

チラシ A4判 両面カラー 22,000部

招待券 カラー 3,500部

図録 A4判カラー112頁 1,350部

（うち、150部は伊那市買取）

《担当》

総合情報課 小野和英 河野智枝 小林寿英 林誠

● 令和 5(2023)年所蔵品展 至宝の名品
学芸員のイチオシ 古文書編—読めなく

でも面白いー

令和5年(2023年)3月18日(土)～5月28日(日)(開催日数 73日間)

観覧者数 657人(3月18日～3月31日)

主催 長野県立歴史館

同時開催 長野県埋蔵文化財センター
速報展「掘るしん 2023」

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局・SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・(一社)長野県ケーブルテレビ協議会・FM長野・FMぜんこうじ・屋代有線放送電話農業協同組合・(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

当館の収蔵資料を多くの皆さまに知っていただきたいと2021年から所蔵品を分野ごとに紹介しています。2023年は古文書の魅力をと十分に味わっていただけるよう「文書が読めなくても楽しめる古文書」を小テーマに展示します。

〈主な展示資料〉

重要文化財1件：鳥羽院庁下文(吉田能民氏所蔵文書)

県宝3件：屋代遺跡群15号国符・郡符木簡(千曲市)

社宮司遺跡漆紙文書(千曲市)、足利尊氏自筆書状(府中小笠原文書)、徳川家康書状(室賀家文書、下条家文書)、武田晴信書状、織田信長朱印状(今清水家文書)、豊臣秀吉朱印状(依田家資料)、真田信之

朱印状など

展示総数 30点

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー 2,100部

チラシ A4判 両面カラー 24,200部

招待券 カラー 3,100部

〈担当〉

総合情報課 黒川稔 町田勝則

小野和英

考古資料課 水澤教子

文献史料課 鈴木 実

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	学級数	グループ 数	解説	バック ヤード
4	12	火	10:40-12:10	屋代高校附属中学校	80	4	2	4	○	見学
4	20	水	9:10-10:40	中野市立中野小学校1	66	2	4	3	○	見学
4	22	金	9:10-10:40	長野市立塩崎小学校	46	2	4	2	○	見学
4	26	火	9:10-10:40	長野市立古里小学校	92	4	3	5	○	見学
			10:40-12:10	須坂市立森上小学校	41	3	2	2	○	見学
4	27	水	13:00-14:30	長野市立鍋屋田小学校	37	3	2	2	○	見学
4	28	木	10:40-12:10	坂城町立南条小学校	46	3	2	2	○	見学
5	10	火	9:10-10:40	須坂市立旭ヶ丘小学校	40	3	2	2	○	見学
			10:40-12:10	中野市立中野小学校2	66	4	2	2	○	見学
5	12	金	10:40-12:10	美麻小中学校	5	2	1	1	○	見学
5	13	金	9:10-10:40	上田市立東小学校	90	4	3	4	○	見学
5	13	日	13:00-14:30	青木村立青木小学校	31	2	1	2	○	見学
5	13	月	14:30-16:00	長野市立若槻小学校	72	5	3	3	○	見学
5	17	火	9:10-10:40	飯綱町立牟礼小学校	44	4	2	2	○	見学
5	17	水	13:00-14:30	上田市立塩川小学校	31	2	1	2	○	見学
5	18	木	10:40-12:10	信州新町・小川・七二会・中条小学校	28	5	4	2	○	見学
5	19	木	9:10-10:40	須坂市立小山小学校	51	3	2	2	○	見学
			10:40-12:10	長野市立共和小学校	53	4	2	3	○	見学
			13:00-14:30	長野市立朝陽小学校	105	6	3	5	○	見学
5	20	金	9:10-10:40	安曇野市立穂高北小学校1	63	4	2	3	○	見学
			10:40-12:10	安曇野市立穂高北小学校2	64		2	3	○	見学
			13:00-14:30	上田市立北小学校	77		3	4	○	見学
5	24	火	9:10-10:40	安曇野市立豊科東小学校	30	3	1	2	○	見学
			13:00-14:30	坂城町立坂城小学校	39	3	2	2	○	見学
5	25	水	9:40-10:40	練馬区中村西小学校	78	9	2	3	○	
			10:40-12:10	須坂市立仁礼小学校	41	3	2	2	○	見学
5	26	木	9:10-10:40	松川村立松川小学校	74	6	2	3	○	見学
5	27	金	9:10-10:40	松本市立二子小学校	44	4	2	2	○	見学
			10:40-12:10	木曽青峰高校1, 2組	60	5	2	3	○	見学
			13:00-14:30	木曽青峰高校3, 4組	58	4	2	3	○	見学
5	31	火	9:10-10:40	岡谷市立岡谷田中小学校	66	5	2	3	○	見学
			10:40-12:10	南牧村立南牧北小学校	6	2	1	1	○	見学
			10:40-12:10	草津町立草津小学校	36	5	1	2	○	見学
			13:00-14:00	信濃町立信濃小中学校	47	6	2	2	○	見学
6	1	水	9:50-10:40	練馬区旭町小学校	49	7	2	2	○	
			10:40-12:10	須坂市立井上小学校	45	3	2	2	○	
6	2	木	9:10-10:40	東吾妻町立東小学校	10	3	1	1	○	見学
			10:40-12:10	高山村立高山小学校	51	3	2	3	○	見学
6	3	金	9:10-10:40	飯綱町立三水小学校	29	3	2	2	○	見学
			10:40-12:10	安曇野市立豊科北小学校	106	6	3	5	○	見学
			13:00-14:00	長野市立保科小学校	17	2	1	1	○	
			13:00-14:20	大町市立大町東小学校	23	3	1	1	○	見学
			14:30-16:00	千曲市立更級小学校	32	2	1	2	○	見学
6	7	火	9:10-10:40	白馬村立白馬南小学校	15	2	1	1	○	見学
			10:40-12:00	長野市立浅川小学校	57	4	2	3	○	見学
			13:00-14:30	千曲市立屋代小学校	66	2	2	3	○	見学
			14:30-15:30	千曲市立東小学校	51	2	2	2	○	
6	8	水	9:10-10:40	長野市立東条小学校	24	2	1	1	○	見学
			10:40-12:10	上田市立城下小学校	75	4	3	4	○	見学
6	9	木	9:10-10:40	栄村立栄小学校	8	1	1	1	○	見学
			10:40-12:10	安曇野市立豊科南小学校1	62	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	安曇野市立豊科南小学校2	57	4	2	3	○	見学

			14:30-16:00	伊那市立東春近小学校	49	6	2	2	○	見学
			9:10-10:40	千曲市立治田小学校	46	3	2	2	○	見学
6	10	金	10:40-12:10	松本市立芳川小学校	127	7	4	5	○	見学
			13:00-14:00	長野市立吉田小学校1	66	3	3	3	○	
			14:00-15:00	長野市立吉田小学校2	66	3	2	3	○	
			9:10-10:40	池田町立池田小学校	29	2	1	2	○	見学
6	14	火	10:40-12:10	松本市立鎌田小学校1	99	8	5	4	○	見学
			13:00-14:30	松本市立鎌田小学校2	56			3	○	見学
			14:30-16:00	東御市立滋野小学校	35	3	1	2	○	見学
			9:10-10:40	松本市立山辺小学校	94	6	3	4	○	見学
6	15	水	10:40-12:10	長野市立篠ノ井西小学校	124	6	4	5	○	見学
			13:00-14:30	長野市立信里小学校	8	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	小布施町立栗ヶ丘小学校	103	6	3	5	○	見学
6	16	木	10:40-12:10	長野市立柳原小学校	63	5	2	3	○	見学
			13:00-14:30	御代田町立御代田南小学校	82	5	3	4	○	見学
			9:10-10:40	長野市立下氷鉋小学校	99	5	3	4	○	見学
6	17	金	10:40-12:10	上田市立長小学校	21	2	1	1	○	見学
			13:00-14:30	坂城町立村上小学校	25	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	上田市立東塩田小学校	38	4	2	2	○	見学
6	21	火	10:40-12:10	佐久市立東小学校	53	4	2	2	○	見学
			13:00-14:00	長野市立大岡中学校	8	5	1	1	○	見学
			13:00-14:30	松本市立本郷小学校	42	4	2	2	○	見学
			9:10-10:40	長野市立松ヶ丘小学校	44	3	2	2	○	見学
6	22	水	10:40-12:10	佐久穂町立佐久穂小学校	93	5	3	4	○	見学
			13:00-14:30	須坂市立豊洲小学校	23	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	松本市立中山小学校	16	2	1	1	○	見学
6	23	木	10:40-12:10	安曇野市立明南小学校	38	2	2	2	○	見学
			13:00-14:30	上田市立清明小学校	56	4	2	3	○	見学
			14:30-16:00	練馬区大泉第一小学校	84	8	3	4	○	見学
			9:10-10:40	長野市立篠ノ井東小学校	78	4	3	4	○	見学
6	24	金	10:40-12:10	大町市立大町北小学校	41	4	2	2	○	見学
			13:00-14:30	東御市立祢津小学校	54	3	2	3	○	見学
			14:30-16:00	上田市立川辺小学校	73	5	3	3	○	見学
			9:10-10:40	松本市立菅野小学校	107	5	3	5	○	見学
6	28	火	10:40-12:10	長野市立寺尾小学校	23	2	1	1	○	見学
			10:40-12:10	上田市立傍陽小学校	10	2	1	1	○	見学
			13:00-14:30	長野市立長沼小学校	15	3	1	1	○	見学
			14:30-15:30	中野区立西中野小学校	73	12	3	3	○	見学
			9:10-10:40	佐久市立佐久平浅間小学校1	146	8	5	3	○	見学
6	29	水	10:40-12:10	佐久市立佐久平浅間小学校2				3	○	見学
			13:00-14:30	長野市立徳間小学校	108	7	3	5	○	見学
			9:10-10:40	長野市立三輪小学校	65	3	2	3	○	見学
6	30	木	10:40-12:10	長野市立昭和小学校	96	4	3	4	○	見学
			13:00-14:30	小諸市立東小学校	76	5	3	3	○	見学
			10:40-12:10	上田市立南小学校	97	4	3	4	○	見学
7	1	金	13:00-14:30	小諸市立千曲小学校	15	3	1	1	○	見学
			14:30-16:00	長野市立南部小学校	86	4	3	4	○	見学
			9:10-10:40	東御市立和合小学校	53	4	2	3	○	見学
7	5	火	10:40-12:10	安曇野市立明北小学校	27	3	1	2	○	見学
			13:00-14:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校	22	2	1	1	○	見学
			14:30-16:00	佐久市立岩村田小学校	88	8	3	4	○	見学
			9:10-10:40	東御市立田中小学校	86	5	3	4	○	見学
7	6	水	10:40-12:10	松本市立田川小学校	43	4	2	2	○	見学
			13:00-14:30	生坂村立生坂小学校	11	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	安曇野市立三郷小学校1	108	9	3	4	○	見学
7	7	木	10:40-12:10	安曇野市立三郷小学校2	73	2	2	3	○	見学
			13:00-14:30	軽井沢東部小学校	20	3	1	1	○	見学
			9:10-10:40	大町市立大町西小学校	45	2	2	2	○	見学
7	8	金	10:40-12:10	佐久市立青沼小学校	6	2	1	1	○	見学
			10:40-12:10	長野市立大岡小学校	2	1	1	1	○	見学

			13:00-14:30	佐久市立切原小学校	18	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	佐久市立中込小学校	63	4	2	3	○	見学
7	13	水	10:45-12:00 (75)	千曲市立戸倉小学校	46	4	2	2	○	見学
			13:00-14:30	須坂市立豊丘小学校	14	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	上田市立神川小学校	94	5	3	4	○	見学
7	14	木	10:40-12:10	長野市立城山小学校	81	4	3	4	○	見学
			13:00-14:30	佐久市立田口小学校	39	4	2	2	○	見学
			9:10-10:40	佐久市立望月小学校	54	4	2	2	○	見学
7	15	金	10:40-12:10	長野市立通明小学校	126	8	4	5	○	見学
			12:45-14:00 (75)	安曇野市立穂高西小学校	65	4	2	3	○	見学
			9:10-10:40	山ノ内町立南小学校	15	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	飯山市立飯山小学校	56	5	2	3	○	見学
7	20	水	10:40-12:10	上田市立丸子中央小学校	58	3	2	3	○	見学
			13:30-14:30	駒ヶ根市立赤穂南小学校	69	4	2	3	○	見学
			13:00-14:30	池田町立会染小学校	35	2	1	2	○	見学
7	22	金	13:00-14:30	中野市立日野小学校	12	2	1	1	○	見学
			14:30-16:00	須坂市立日野小学校	45	3	2	2	○	見学
8	5	金	9:10-11:10 (120)	京都女子大学	27	2	1	1	○	見学
			10:40-12:10	上田市立西小学校 (博物館実習兼)	41	3	2	2	○	見学
8	26	金	13:00-14:30	上田市立浦里小学校	11	2	1	1	○	見学
			9:10-10:40	松本市立宗賀小学校 (博物館実習兼)	40	3	2	2	○	見学
8	30	火	13:00-14:30	立教大学	14	2	1	1	○	見学
			14:30-16:00	立教大学	15	2	1	1	○	見学
9	2	金	10:40-12:10	白馬村立白馬北小学校	45	4	2	3	○	
			9:10-10:40	長野市立加茂・芋井小学校	42	4	3	2	○	見学
9	16	金	10:40-12:10	長野市立安茂里小学校	65	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	学校法人茂来学園 大日向小学校	54	9	1	3	○	見学
			14:30-16:00	箕輪町立箕輪中部小学校4年生	81	8	3	4	○	見学
9	21	水	9:10-10:40	辰野町立辰野東小学校	42	7	2	2	○	見学
9	22	木	9:10-10:40	松本市立梓川小学校1	67	7	4	4	○	見学
			10:40-12:10	松本市立梓川小学校2	58			4	○	見学
9	27	火	9:00-10:40	伊那市立伊那小学校4年生	101	7	3	4	○	見学
			10:40-12:10	長野市立芹田小学校	112	6	4	5	○	見学
9	28	水	10:40-12:10	上田市立豊殿小学校	43	3	2	2	○	見学
9	29	木	9:10-10:40	辰野町立辰野西小学校	67	7	2	3	○	見学
			9:10-10:40	須坂市立高甫小学校	30	2	1	2	○	見学
9	30	金	10:40-12:10	佐久市立中佐都小学校	53	3	2	3	○	見学
			14:45-16:00	飯島町立七久保小学校 4年生	22	5	1	1	○	見学
10	4	火	10:40-12:10	長野市立豊野西小学校	66	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	長野市立青木島小学校	92	4	3	4	○	見学
10	5	水	9:10-10:40	阿智村立阿智第三小学校	12	5	1	1	○	見学
10	12	水	9:10-10:40	長野市立川中島小学校1	54	3	2	3	○	見学
			10:40-12:10	長野市立川中島小学校2	59	3	2	3	○	見学
			9:10-10:40	長野市立豊野東小学校	18	3	1	1	○	見学
10	13	木	10:00-10:40	大町市立八坂小学校	7	3	1	1	○	
			13:00-14:30	安曇野市立堀金小学校 4年生	76	5	3	4	○	見学
10	14	金	10:40-12:10	長野市立大豆島小学校	102	6	3	5	○	見学
			13:00-14:30	信州大学教育学部付属松本小学校	71	5	2	3	○	見学
10	19	水	9:10-10:40	須坂市立須坂小学校	40	3	3	2	○	見学
			10:40-12:10	山ノ内町立西小学校	25	2	1	1	○	見学
10	20	木	10:40-12:10	山ノ内町立東小学校	27	2	1	2	○	見学
10	25	火	9:10-10:40	小諸市立美南ヶ丘小学校	99	7	3	5	○	見学
10	26	木	9:20-10:40	千曲市立稲荷山養護学校中学部	19	10	3	3	○	
			9:10-10:40	駒ヶ根市立赤穂東小学校4年生	70	6	2	3	○	見学
10	27	木	14:30-16:00	喬木村立喬木第一・第二小学校	64	11	2	3	○	見学
10	28	金	9:10-10:40	中野市立平野小学校	57	4	2	3	○	見学
			10:40-12:10	飯山市立常盤小学校	8	1	1	1	○	見学
11	1	火	13:00-14:30	長野市立山王小学校	43	3	2	2	○	見学
			14:55-16:00	飯田市立座光寺小学校4年生	38	5	1	2	○	見学

11	2	水	10:40-11:40	上田市立塩田西小学校	56	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	南相木・北相木小学校	18	3	2	1	○	見学
11	6	日	14:00-15:40	長野西高校 通信制	5	4	1	1	○	見学
11	8	火	11:00-12:10	長野市立城東小学校	53	3	2	3	○	見学
11	10	木	9:10-10:40	上田市立本原小学校	32	3	1	2	○	見学
			9:10-10:40	小諸市立坂の上小学校	42	3	2	2	○	見学
11	11	金	11:10-12:10	佐久市立泉小学校	48	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	上田市立西内小学校	8	2	1	1	○	見学
11	15	火	9:10-10:40	千曲市立上山田小学校	34	2	1	2	○	見学
			10:40-12:10	上田市立武石小学校	27	2	1	2	○	見学
11	18	金	9:10-10:40	千曲市立五加小学校	54	3	2	3	○	見学
			13:00-14:30	千曲市立埴生小学校	69	4	3	3	○	見学
			9:10-10:40	佐久市立佐久城山小学校	64	4	2	3	○	見学
11	22	火	10:40-12:10	佐久市立浅科小学校	48	4	2	3	○	見学
			10:40-12:10	長野市立信更小学校	6	1	1	1	○	見学
			10:40-11:40	南牧南小学校	18	3	1	1	○	見学
12	2	金	9:10-10:40	中野市立豊田小学校	16	3	1	1	○	見学
			10:40-12:10	須坂市立日滝小学校	59	3	2	3	○	見学
12	6	火	13:00-14:30	千曲市立八幡小学校	33	2	1	2	○	見学
12	22	木	13:00-14:30	中野市立高社小学校	66	3	2	3	○	
2	22	水	10:40-12:10	新潟県上越市立大和小学校	34	3	1	2	○	見学
合計					188	9775	739	378	483	

(2) 教育関係機関視察・見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	グループ数	解説	バックヤード
4	21	木	12:35-13:55	【実地踏査】練馬区教育委員会	38	2	2	○	見学
			10:00-11:00	埋蔵文化センター	10		1	○	
5	24	火	14:00-15:00	埋蔵文化センター	11		1	○	
7	22	金	9:50-10:50	【実地踏査】大田区教育委員会 実地踏査	71	3	3	○	見学
7	26	火	9:45-11:10	佐久市教育委員会連携講座	29	5	1	○	
8	5	金	10:40-12:00	信州社研松本支部	14		1	○	見学
11	22	水	10:40-12:10	朝日村中央公民館・教育委員会	8		1	○	
合計					6	181	10	10	

(3) 一般団体見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	グループ数	解説	バックヤード
6	7	火	9:40-10:40	歴史を学ぶ会「縄の会」	31		1	○	
6	9	金	9:30-10:30	平出博物館ボランティアどんぐりの会	11		1	○	
6	17	金	14:00-15:00	ピュアに輝くチャレンジ講座	20	2	1	○	
7	7	木	14:30-16:00	上田市高齢者福祉センター	27		1	○	
9	29	木	13:00-14:30	信濃教育会賛助会員会	65		3	○	
10	13	金	9:30-10:40	大町市八坂公民館 高齢者学級「高砂大学」	30		2	○	
10	14	金	9:45-10:30	長野市東部保育園	19	5	3	○	
10	15	土	14:45-15:35	羽場まちづくり委員会	22	0	1	○	
10	23	日	10:20-11:20	長商連共済会	43		2	○	
10	28	金	11:30-12:10	JAながの女性部 ちくま地区	14		1	○	
11	2	水	9:10-10:00	長野市立東条保育園	24	9	3	○	
11	5	日	14:30-16:00	国際ロータリー (外国人留学生)	13	8	1	○	
11	9	木	15:00-16:00	諏訪浄化槽衛生管理組合	9		1	○	
11	11	金	9:10-10:40	須坂市民学園 町並みクラブ	18		1	○	
11	25	金	9:10-10:40	山ノ内町文化協会 中央公民館	16		1	○	
12	1	木	10:40-11:30	鬼無里公民館上里分館	21		1	○	
12	6	火	11:30-12:10	城北公民館 (城北地区人権啓発推進協議会)	17	3	1	○	
1	13	金	14:30-16:00	頸城バスガイド研修	4		1	○	

2	23	木	13:30-15:00	ひふみ長野徳間教室	11		1	○	
2	25	土	10:30-12:00	松代ボランティアの会Aグループ	10		1	○	
			合計	20	425	27	28		

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加人数
7月16日(土)	【夏季企画展関連】 講演会① 江戸幕府の宗教政策と修験道	高埜 利彦氏 (学習院大学名誉教授)	73
7月19日(火)	企画展連携講座① 山伏 佐久の修験 大井法華堂の世界 現地講座(佐久市 浅間会館)	村石 正行 (当館文献史料課長)	34
7月26日(火)	企画展関連講座② 山伏 佐久の修験 大井法華堂の世界 企画展見学・展示解説(当館)	同上	36
8月20日(土)	講演会② 天台宗寺門派聖護院門跡と山伏の組織	徳永 誓子氏 (岡山大学大学院准教授)	66
10月15日(土)	【秋季企画展関連】 講演会① 武田氏と諏訪信仰	笹本 正治 (当館特別館長)	106
11月12日(土)	講演会② 中先代の乱と諏訪信仰について	二本松 康宏氏 (静岡文化芸術大学教授)	85
1月28日(土)	【冬季企画展関連】 講座① 内藤家が地元に残したもの	大澤 佳寿子氏 (伊那市教育委員会)	77
2月18日(土)	講座② 厩稻荷の奉納品	小池 勝典氏 (宮田村教育委員会)	68

計 545

3 講座

(1) 県立歴史館の信州学講座

①館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月7日(土)	鉄鐸と諏訪信仰	笹本 正治 (当館特別館長)	75
6月4日(土)	幻の長沼城を掘る	柳澤 亮 氏 (長野県埋蔵文化財センター)	67
7月2日(土)	古代信濃と仏教信仰 ～お寺と集落～	柴田 洋孝 (当館学芸部総合情報課)	75
1月28日(土)	内藤家が地元に残したもの	大澤 佳寿子 氏 (伊那市教育委員会)	企画展講座 参照
2月18日(土)	厩稲荷の奉納品	小池 勝典 氏 (宮田村教育委員会)	企画展講座 参照
3月11日(土)	近代信濃の城と城下町 ～発掘調査が謎を解く～	中野 亮一 (当館学芸部長)	65

(4回分) 計 282

②信州学出前講座 in 諏訪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
9月17日(土)	諏訪市文化センター	古代信濃の仏教信仰	柴田 洋孝 (当館学芸部総合情報課)	18

③信州学出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
10月22日(土)	箕輪町地域交流センター	満蒙開拓青年義勇軍と満州 縄文時代を読み解く視点	大森 昭智 (当館学芸部文庫史料課) 水澤 教子 (当館学芸部考古資料課)	27

④信州学出前講座 in 大桑

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月19日(土)	大桑村役場新庁舎	伊能忠敬と信州	小野 和英 (当館学芸部総合情報課)	32

(②～④) 計 77

(2) 考古学講座 『長野県の考古学～遺跡を探る～』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
4月30日(土)	地震と洪水の痕跡を探るー長野市川田条里遺跡ー	鶴田 典昭 (当館学芸部考古資料課)	75
6月18日(土)	地表下4mの縄文時代のムラを探るー千曲市屋代遺跡群ー	水澤 教子 (当館学芸部考古資料課)	61
8月13日(土)	県内最大の弥生時代のムラを探るー長野市松原遺跡ー	馬場 伸一郎 氏 (長野県教育委員会)	50
9月24日(土)	古墳時代の祈りを探るー長野市石川条里遺跡ー	石丸 敦史 (当館学芸部考古資料課)	60
11月5日(土)	平安時代のムラを探るー塩尻市吉田川西遺跡ー	原 明芳 氏 (豊科郷土博物館長)	49
11月26日(土)	特設講座 金属器を調べてみよう	石丸 敦史 (当館学芸部考古資料課)	4
12月24日(土)	特設講座 石器を調べてみよう	鶴田 典昭 (当館学芸部考古資料課)	5
1月21日(土)	特設講座 縄文時代・弥生時代の骨を調べてみよう	水澤 教子 (当館学芸部考古資料課)	9

計 313

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テーマ	講 師	参加者数
A:6月5日(日) B:6月9日(木)	古文書学習の世界に踏み出そう	中野 亮一 (当館学芸部長)	31 30
A:7月3日(日) B:7月14日(木)	善光寺のお話を読もう～変体仮名を読む～	大森 昭智 (当館学芸部文獻史料課)	28 27
A:8月7日(日) B:8月4日(木)	藩の記録から江戸時代の出来事を読み解こう	大森 昭智 (当館学芸部文獻史料課)	29 27
A:9月4日(日) B:9月22日(木)	江戸時代の地方文書を読もう	花岡 康隆 (当館学芸部文獻史料課)	27 27
A:10月2日(日) B:10月6日(木)	宗門人別改帳を読もう	鈴木 実 (当館学芸部文獻史料課)	29 27

②中級

日 時	テーマ	講 師	参加者数
A:6月4日(土) B:6月9日(木)	松本藩松川組 清水家文書を読む	小野 和英 (当館学芸部総合情報課長)	28 28
A:7月2日(土) B:7月14日(木)	松本藩松川組清水家文書を読む	小野 和英 (当館学芸部総合情報課長)	30 29
A:8月6日(土) B:8月4日(木)	修験道の通達書を読む	村石 正行 (当館学芸部文獻史料課長)	25 27

A : 9 月 3 日 (土)	松本藩松川組清水家文書を読む	小野 和英 (当館学芸部総合情報課長)	26
B : 9 月 22 日 (木)			24
A : 10 月 1 日 (土)	江戸時代の大名文書を読む	村石 正行 (当館学芸部文獻史料課長)	27
B : 10 月 6 日 (木)			27

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5 月 28 日 (土)	上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎 行也 氏	19
6 月 25 日 (土)	上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎 行也 氏	19
7 月 23 日 (土)	上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎 行也 氏	19
8 月 27 日 (土)	上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎 行也 氏	15
9 月 24 日 (土)	上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎 行也 氏	16

④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
3 月 24 日, 25 日, 28 日, 29 日	古文書に親しもう (1) ~ (4)	村石 正行 (当館学芸部文獻史料課長)	40

⑤古文書フォローアップ講座

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
10 月 29 日 (土)	武田氏発給文書から諏方を考える	笹本 正治 (当館特別館長)	46
10 月 30 日 (日)	人生の一コマに文書を読む楽しみを!	村石 正行 (当館学芸部文獻史料課長)	47

古文書講座 計 774

4 考古学セミナー

考古学セミナーは、長野県考古学会との共催事業と位置付けられている。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
1月14日(土)	遺跡報告会 伊那市 勸前遺跡 南牧村 志なの入遺跡 長野市 清水原古墳群 坂城町 上五明条里水田址	濱 慎一氏 (伊那市教育委員会) 有坂 恭祐氏 (南牧村教育委員会) 風間 栄一氏 (長野市教育委員会) 水科 汐華氏 (長野県埋蔵文化財センター)	51
2月19日(日)	「掘る女」上映会 出演者座談会	大竹 幸恵氏 (長和町教育委員会) 堤 隆 氏 (明治大学 黒耀石研究センター)	65

計 116

5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「江戸時代の大名家」をテーマにして、2名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月3日(土) 13:00～15:25	研究発表 1 「高遠藩内藤家の参勤交代」 研究発表 2 「真田家伝来の大名道具について」	大澤 佳寿子氏 (伊那市教育委員会) 米澤 愛氏 (真田宝物館)	72

6 講習会

(1) 考古資料保存技術講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
8月26日(金) 9:30～12:30	『石造物の保存処理と環境管理』 千曲市上山田 市史跡 堂上古墳の墳頂部:馬頭観音 現地 講 義 「石製品の傷み方と修復材料」	白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課) 同 伴: 鶴田 典昭 (当館学芸部考古資料課長)	17

	実 習 「 石製品の保存処理 」		
--	------------------	--	--

(2)長野県史料保存活用連絡協議会講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月23日(木) 12:40～16:00	第1回講習会:茅野市八ヶ岳総合博物館 講演会「諏訪地域の資料収集活動」 巡見 八ヶ岳総合博物館、諏訪大社上社本宮、 (諏訪市博物館)	柳川 英司氏 (茅野市尖石縄文考古館)	32
10月27日(木) 13:30～16:30	第2回講習会:長野県立歴史館講堂 テーマ「市町村における公文書の整理と保存」 基調講演 「市町村における公文書の整理と保存～行政文 書の移管と保存、役場文書の取り扱い～」 実践報告 「行政文書の移管のしくみ—安曇野市の事例—」	小川 千代子氏 (DJI国際資料研究所代表) 報告者 逸見 大悟氏 (安曇野市教育委員会)	33
1月26日(木)・ 27日(金) 各10:00～16:00	第3回講習会:長野県立歴史館遺物整理室 テーマ「地域資料を後世に遺すためのワークシ ョップ—襖の中に貼られた古文書を取り出す—」 実技講習 「襖下張り文書の剥離と洗浄」	中村 慧氏 (杉並区教育委員会学芸員) 平田 茉莉子氏 (修復専門員)	38

計 103

7 各種講習会・イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	常設展クイズ	217
		プラ板マスコットづくり	145
6月11日	Goolightの日関連	史料特別公開「武田晴信書状」	243
		バックヤード案内	60
		プラ板マスコットづくり	50
8月11日	歴史館で夏休み	クイズにチャレンジ	125
8月26日	考古資料保存処理講習会①	石造物(石製品)の保存修復と保管環境	17
11月26日	縄文風クリスマスリースを作ろう	クリスマスリースづくり	22
1月21日	KOAの日関連	資料特別公開「飯島家資料」	331
		どきmoドキづくり	75
1月22日	KOAの日関連	バックヤード案内(上伊那広域連合)	39
3月19日	親子映画会	こども人形劇場「ハムルの笛吹き男」ほか	65
3月21日		まんが日本昔ばなし「舌きり雀」ほか	75
3月23日		まんが日本昔ばなし「タヌキと彦市」ほか	56
3月24日		アニメ日本昔ばなし「うらしま太郎」ほか	68
合計			1,588

8 展示解説

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
学校数	7	28	58	32	5	15	18	20	4	0	1	0	188
一般団体数	1	1	3	3	1	1	5	6	2	1	2	0	26
小計	8	29	61	35	6	16	23	26	6	1	3	0	214

9 学校との連携

(1) 千曲市立東小学校との連携

→今年度、学校からの希望はなし。

(2) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月12日）

- ・研修講座〔社会科の基本Ⅱ ～県立歴史館の資料を活用した教材研究～〕
- ・講義「地域素材の教材化について」の講師を務めた。
- ・演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。
- ・受講者8名。

(3) 信州大学教員免許更新講習の開設

（制度廃止に伴い今年度より実施しない）

(4) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（9月1日、2月3日）

- ・9月受講者16名、2月受講者19名。計35名。

(5) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曽・諏訪地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
- ・実施した学校数：4校、公民館数3館4講座、実施人数188名。詳細は以下の通り。

①令和4年8月4日 下諏訪町公民館（諏訪郡下諏訪町）

対象：小学校1～6年生と保護者 45名

内容：縄文人になろう

担当：内城、小林

②8月5日 下諏訪町公民館（諏訪郡下諏訪町）

対象：小学校1年生～6年生と保護者 49名

内容：縄文人になろう

担当：町田、黒川

③10月1日 南箕輪村公民館

対象；小学生 9名

内容：縄文人になろう

担当：町田、飯島

④10月30日 上久堅公民館

対象；小中学校と保護者 18名

内容：縄文人になろう

担当：黒川、内城

⑤12月6日 大桑小学校

対象；小学校 19名

内容：ペーパークラフトで土器をつくろう

担当：飯島、小林

⑥12月16日 木曾養護学校

対象；小学校と保護者と職員 20名

内容：縄文人になろう

担当：飯島、小林

⑦12月21日 平谷小学校

対象；小学生と職員 18名

内容：縄文人になろう

担当：黒川、内城

⑧3月3日 開田小学校

対象；小学校5年生 10名

内容：縄文人になろう

担当：内城、小林

10 博物館実習

・実習期間 8月18日（木）から8月30日（火）まで

※ 8月22日（月）・24日（水）・29日（月）を除く10日間

・実習生 8名

・内容 考古資料の収集・整理・保存、文献史料の収集・整理・保存、展示の実務、文化財の取り扱い、展示の設計、展示解説、広報、資料閲覧・図書の実務、館長講話、課題討論「県立歴史館に期待すること」

11 インターンシップ

本年度は申し込み無し。

12 職場体験学習

(1) 中学生による職場体験学習 (1校、2名)

- 8月4日、5日 (2日間) 中野市立高社中学校 2年生 (2名)

(2) 高校生による就業体験学習 (3校、7名)

- 8月4日 (1日間) 長野県屋代高等学校 1年生 (4名)
- 8月9日～11日 (3日間) 長野県篠ノ井高等学校 1年生 (1名)、2年生 (1名)
- 3月7日、9日 (2日間) 長野県岩村田高等学校 2年生 (1名)

(3) 社会人研修 (2校、3名)

- 8月9日、10日 (2日間) 上田市立神川小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ (1名)
- 2月7日 (1日間) 長野県屋代高等学校教員キャリアアップ研修Ⅱ (2名)

13 サークル育成活動

- 古文書愛好会 (1)～(5) 参加合計 759名

(1) 館蔵文書を読む会

- ①日時 6月2日 (木) 6月30日 (木) 7月28日 (木) 8月25日 (木)
9月1日 (木) 9月29日 (木) 11月10日 (木) 12月1日 (木)
9:30～16:00

- ②内容 大井法華堂文書解説

- ③参加者数 (延べ人数) 251名

(2) 古文書探訪会

- ①日 時 令和4年10月13日 (木)

- ②テーマ「奥信濃飯山 信仰の地 小菅神社、正受庵と松代を訪ねる」

- ③目的地 小菅神社 正受庵 真田宝物館

- ④参加者数 25名

(3) 古文書演習

- ①演習史料 伊那郡大草村横前家文書

- ②演習Ⅰ 夏季 (13:00～16:00)

5月28日 (土)・6月25日 (土)・7月23日 (土)・8月27日 (土)・9月24日 (土)

- ③演習Ⅱ 冬季 (9:30～15:30)

1月20日 (金)・21日 (土)・22日 (日)・27日 (金)・28日 (土)・29日 (日)

2月3日 (金)・4日 (土)・5日 (日)・10日 (金)・11日 (土)・12日 (日)

2月17日 (金)・18日 (土)・19日 (日)・23日 (木・祝)・25日 (土)・26日 (日)

- ④参加者数 (延べ人数) 演習Ⅰ 88名 演習Ⅱ 287名

(4) 総会・研修講演会

- ①日 時 2月26日 (日)

②総 会 議 題

- ・令和4年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告
- ・令和5年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案

③研修講演会 「古文書から見た古典落語の世界 ー大井法華堂文書を素材にー」

講師 当館文献史料課長 村石正行

④参加者数 41名

(5) 長野県立歴史館古文書愛好会発足20周年講演会

①日時 令和4年7月30日(土) 13:30～15:30

②演題「古記録を読み解くー松本藩主日記『御事実綱領』を事例にー」

③講師 信州大学人文学部教授 山本 英二氏

④参加者数 67名

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催。
- ② 保険の加入 4回にわたり手続きした。保険適用は無かった。
- ③ 募集 ホームページ、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	53	28	27	108	72
年度末数(人)	3/31	33	16	53	102	66

⑤ 招待券等の送付

例年、会員を内覧会へ招待していたが、コロナウイルス感染症拡大防止のために今年度も招待しなかった。

⑥ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

① 一般客への展示解説 「日曜解説」

・実施日 毎週日曜日と祝日(通年) 66日

・実施時間 午前10:30～12:30 午後1:30～3:30(12～2月は1:00～3:00)

・解説人数 午前・午後ともに1～2名

・解説方法 マスク、ソーシャルディスタンス等の感染防止対策を行い、展示室で声がけをしながら適宜行った。

② イベント時における展示解説と監視

- ・企業協賛の日（Goolight、KOA の日）には、監視も兼ねて解説をしていただいた。

③ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、内覧会、自主研修ほか

(3) 体験ボランティア活動

- ・こどもの日・Goolightの日のプラ板づくり、クリスマスリースづくり、KOAの日のどきもドキづくりで活動を行った。
- ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、今年度も参加者が密になる勾玉づくりは行わなかった。
- ・「歴史館で夏休み」のイベントもコロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) 作業ボランティア活動

①活動内容 ※平日に活動

- ・木製品処理 ※実施日：79日（7月～3月） 実会員：16名
- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）
※実施日：179日 実会員：8名（それぞれ週1日程度）
- ・図書整理 ※実施日：28日（8月～3月） 実会員：3名

②運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課から連絡し、運営した。

15 博物館関係職員等研修会

1 趣 旨

博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。

2 主 催

長野県教育委員会、長野県博物館協議会

3 期 日

令和5年2月16日（木）・2月17日（金）

4 会 場

長野県立歴史館

5 参加対象者

博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員、
市町村教育委員会職員、

教育事務所等県職員、
県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

6 内容・日程

・令和5年2月16日（木）**1日目**

講演会「民俗伝承の調査と記録—今に活かし、将来に伝えるために—」

講師：櫻井 弘人 氏

講座①「展示資料の3Dデータ化とその公開・活用について」

講師：牧野 令 氏（塩尻市立平出博物館学芸員）

講座②「SNSを活用した広報について」

講師：柴田 洋孝（長野県立歴史館 主任・文化財専門員）

・令和5年2月17日（金）**2日目**

実務研修 午前と午後に同じ研修を開催した。

研修内容は、3グループに分かれ、①～③を30分ずつローテーションで行った。

① 土器等の梱包 場所：遺物整理室（1F）

② 屏風・軸・卷子・刀等の梱包 場所：休養室（1F）

③ 冬季企画展 場所：企画展示室（2F）

終了後、各グループで閉会行事を行った。

7 参加者数

1日目 48名

2日目 49名

計 97名

16 出前講座

(1)信州学出前講座 ※再掲 p43参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
9月17日	諏訪市文化センター	古代信濃の仏教信仰	18	柴田 洋孝
10月22日	箕輪町地域交流センター	満蒙開拓青年義勇軍と満州	27	大森 昭智
10月22日	箕輪町地域交流センター	縄文時代を読み解く視点		水澤 教子
11月19日	大桑村役場新庁舎	伊能忠敬と信州	32	小野 和英

77

(2)お出かけ歴史館事業 ※再掲 p49参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
8月～3月	学校：4校、公民館数3館4講座	p49参照	188	内城 正登他

188

(3)その他

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
4月21日	池田町新池田学みのり塾	近世信濃の衣料	18	小野 和英
5月2日	蓼科高校蓼科学	中世信仰の道	33	村石 正行
5月13日	佐久穂町ふるさと遺産収蔵館友の会	もうひとつの五稜郭をつくった大給恒	32	中野 亮一
5月14日	柳原住民自治協議会学習会	柳原の成り立ち～塔筒形合子がやってくるまで～	60	石丸 敦史
5月16日	蓼科高校蓼科学	中山道	32	小野 和英
5月20日	松代公民館講座「海津大学園」	日本列島に初めて人類が来た頃の話	45	鶴田 典昭
5月21日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	博物館見学と切り紙作りを楽しもう	73	小林 寿英
6月9日	市立長野高校ながのろじー	日本列島に初めて人類が来た頃の話	15	鶴田 典昭
6月18日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	明科でトンネル跡を訪ねる	70	小林 寿英
6月18日	長野県退職校長会更級埴科支会	川中島の戦いと更埴	35	村石 正行
7月16日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	堀金で用水堰にふれる	55	小林 寿英
8月17日	長野市立博物館友の会「考古学入門」	旧石器時代の日本列島	10	鶴田 典昭
8月18日	信更小学校職員研修会	主体的な学習に向けた授業づくり	8	小林 寿英
9月1日	市立長野高校ながのろじー	浅川扇状地遺跡群の仏教関連遺跡	15	柴田 洋孝
9月1日	信州上田丸子夏期大学講座	木曾義仲と信濃武士のネットワーク	120	村石 正行
9月3日	小諸市民大学講座	人の営みの道～古代と現代の道路構造の比較から～	55	白沢 勝彦

9月24日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	三郷で海に続く昔の道を歩く	46	小林 寿英
10月6日	市立長野高校ながのろじー	近世の繊維	11	小野 和英
10月7日	松代公民館講座「海津大学園」	縄文時代の松原遺跡	50	町田 勝則
10月12日	長野市立博物館友の会「考古学入門」	原材料からみる土器づくりの歴史	11	水澤 教子
10月14日	長野西高校梶の葉セミナー	古代水内郡の中心地 ～元善町遺跡と県町遺跡を中心に～	14	柴田 洋孝
10月15日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	穂高郷土資料館見学と火おこし	65	小林 寿英
10月18日	佐久シニア大学	武田氏と諏訪信仰	27	内城 正登
11月17日	稲荷山公民館教養講座	木曾義仲と北信地方の関わり	30	村石 正行
11月19日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	堀金でフルート作り工場見学	55	小林 寿英
11月24日	市立長野高校ながのろじー	もうひとつの五稜郭をつくった大給恒	14	中野 亮一
11月26日	やなぎはら探検隊講演会	中俣遺跡から出土した石斧について	18	町田 勝則
11月29日	湯～ばれあ郷土史講座	井上一族の中世	15	花岡 康隆
12月14日	長野市立博物館友の会「考古学入門」	古墳からみた日本の歴史	10	石丸 敦史
12月17日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	穂高で昔の宿とおもしろい道祖神	58	小林 寿英
12月20日	湯～ばれあ郷土史講座	信濃の古墳 北信の古墳	15	石丸 敦史
2月15日	長野市立博物館友の会「考古学入門」	考古学の歴史	11	鶴田 典昭
2月25日	やなぎはら探検隊講演会	中俣遺跡の成果から派生すること	16	町田 勝則
2月25日	諏訪史談会総会・講演会	諏訪と武田氏～県立歴史館秋季企画展より～	60	内城 正登
2月28日	小川中学校 総合的な学習	「ふるさと」の意味について考える	21	村石 正行
3月11日	飯山常盤地区「ときわ塾」	満蒙開拓青少年義勇軍と常盤	43	大森 昭智
3月11日	「山ノ内の縄文」ギャラリートーク	奥信濃の縄文文化その魅力	31	町田 勝則
3月12日	中野市立博物館講座	戦国時代の中野	30	村石 正行
3月12日	上田市公文書館講座	青少年義勇軍がみた満州	22	大森 昭智

1, 349

Ⅳ 共催事業等

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
1月14日	考古学セミナー①	長野県考古学会	51
2月19日	考古学セミナー②	長野県考古学会	65
12月3日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	72
6月23日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	32
10月27日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	33
1月26・27日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③	長野県史料保存活用連絡協議会	38
6月～12月	古文書愛好会 館蔵文書を読む会(8回)	古文書愛好会	251
10月13日	古文書愛好会 古文書探訪会	古文書愛好会	25
5月～2月	古文書愛好会 古文書演習(23回)	古文書愛好会	375
7月30日	古文書愛好会 発足20周年講演会	古文書愛好会	67
2月26日	古文書愛好会 総会講演会	古文書愛好会	41
7月12日	総合教育センター研修	長野県総合教育センター	8
9月1日	信州大学学芸員資格取得講座(博物館展示論)	信州大学	16
2月3日	信州大学学芸員資格取得講座(博物館経営論)	信州大学	19
2月16・17日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	97
(4/1)～6/12	「掘るしん2022」県埋文センター速報展	長野県埋蔵文化財センター	2,771
3/18～(3/31)	「掘るしん2023」県埋文センター速報展	長野県埋蔵文化財センター	485
7/16～8/28	「富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術(山梨県開催)」	長野県・山梨県・静岡県	5,708
10/13～11/5	「富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術(静岡県開催)」	長野県・山梨県・静岡県	1,788
12/1～12/18	「富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術(長野県開催)」	長野県・山梨県・静岡県	452
10/15～10/30	「縄文社会を読み解く展」	箕輪町教育委員会	228
11/4～11/9	「南箕輪村の縄文の歴史展」	南箕輪村教育委員会	355
12/13～12/20	「平谷小学校文化展」	平谷村教育委員会	71
12/24～3/9	「千曲川・梓川はこう変わった！」	歴史的水害史料活用研究会	884

V 出版

1 長野県立歴史館たより

- (1) 夏号 vol.111 表紙 熊野那智参詣曼荼羅図(17世紀高圓寺蔵)

令和4年5月31日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示紹介」、「夏季企画展 山伏-佐久の修験 大井法華堂の世界-」、「研究の窓 希少な遺物の研究は難しい」、「長野県立歴史館文献史料課のお仕事 その2 古文書の整理と公開」、「インフォメーション 2022年6月~9月の行事予定」、「行事アルバム」

- (2) 秋号 vol.112 表紙 信州川中島合戦錦絵 乾(当館蔵)

令和4年9月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「秋季企画展 諏訪と武田氏」、「文献史料をよむ 『陣中日誌』歩兵五十聯隊速射砲中隊」、「考古資料をよむ 考古学からみた英雄時代-『外来』という意味-」、「資料紹介 木曾義仲合戦屏風」、「冬季企画展 高遠藩の遺産-最後の藩主が残したもの-」、「インフォメーション 2022年9月~1月の行事予定」、「行事アルバム」

- (3) 冬号 vol.113 表紙 高遠城再現図 1・総構東方図(池上典画 伊那市立高遠町歴史博物館蔵)

令和4年12月2日発行 A4判、8頁(オ

ールカラー)

主な内容：「令和4年度冬季企画展 高遠藩の遺産-最後の藩主が残したもの-」、「収蔵資料紹介 木造校舎とその教室~郷愁誘う大正時代の建築~」、「考古資料をよむ 孔(あな)を考える」、「文献史料をよむ 満洲建設勤労奉仕隊手帳」、「研究の窓 縄文時代の食料保存について」、「インフォメーション 2022年12~2023年3月の行事予定」、「行事アルバム」

- (4) 春号 vol.114 表紙 鳥羽院庁下文(当館蔵)

令和5年2月9日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「令和5年度の歴史館」、「秋季企画展『諏訪と武田氏』を振り返って」、「2023年所蔵品展 至宝の名品 学芸員のイチ押し古文書編-読めなくても面白い-」、「考古資料を読む、長野市松原遺跡出土の鎌形木製品(木鎌)」、「文献史料を読む、明治後期・大正期の県庁における完結文書編冊過程の復元」、「インフォメーション 2023年3月~6月の行事予定」、「行事アルバム」

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第29号 令和5年3月31日発行、A4判、114頁、1,000円

<内容>

口絵/資料紹介

新収蔵資料 長谷川信秋筆

木曾義仲合戦図屏風

村石 正行

◇研究報告

山伏の「口才」－複合文書としての口状・口上－
村石 正行

吉田博《写生帖No.17》－「日本アルプス写生旅行」再考
林 誠

青少年義勇軍の送出と多様な社会基盤
－令和三年度夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」における教育会・旧市町村役場史料の考察を中心として－

大森 昭智

図面史料にみる近代治水工事としての霞堤
－長野県内における霞堤の形成の歴史－

山浦 直人

◇研究ノート

考古学における型式論
鶴田 典昭

強く被熱したとみられる土器の観察

水澤 教子

◇資料紹介

信濃国安曇郡千国荘関係史料の紹介

－建久元年一二月日平某（梶原景時か）下文を中心にして－
花岡 康隆

◇職員執筆抄

◇研究活動

3 その他

(1) 令和4年度催しもの案内

A4判（21.0×29.7 cm）、三つ折カラー

(2) 『信州の風土と歴史 27 学芸員が語る長野

県立歴史館所蔵品選 第3巻－古文書－』

令和5年3月16日発行、B5判、80頁、

1,000円

<内容>

はじめに（笹本正治）、国符木簡（水澤教子）、漆紙文書（鈴木実）、鳥羽院庁下文（村石正行）、小川荘関係文書（村石正行）、足利尊氏自筆書状（村石正行）、足利直義軍勢催促状（花岡康隆）、武田晴信書状（村石正行）、長尾景虎書状（村石正行）、武田晴信書状（柴

田洋孝）、武田家朱印状（笹本正治）、織田信長書状（村石正行）、豊臣秀吉書状（村石正行）、大槻家文書（中野亮一）、徳川家康書状（中野亮一）、徳川家康書状（鈴木実）、保科正光書状（村石正行）、清水家文書（小野和英）

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数 ※

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	県内遺跡報告書	小計
自館制作	1	2	3	0	6
購 入	50	220	0	0	270
寄 贈	246	626	222	129	1,223
令和4年度計	297	848	225	129	1,499
図書資料数(累計)	41,690	38,147	7,719	26,400	124,695

※年次別図書資料数は受入数を計上

(2) 公開用雑誌製本

雑誌製本 11件 改装製本 1件

(3) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 3本

寄贈CD-ROM 0本

累計 128本

2 情報提供

(1) レファレンス

232 件(お問い合わせフォーム・電話・閲覧室)

(2) ホームページアクセス数

95,832 件

Ⅶ 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（5月25日）

○特別館長講話 歴史研究の方法 「薙鎌と諏訪信仰」

笹本 正治

第2回（6月22日）

○各自研究テーマ発表

第3回（7月27日）

○長野県の文化財行政について

長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課
課長補佐兼文化財係長 児玉 真二

第4回（8月24日）

○現代史資料収集方針の原則について

鈴木 実

第5回（9月19日）

○考古学における型式論

鶴田 典昭

○「口頭」と「文書」と

ー歴史館の文書を手がかりにー

村石 正行

第6回（10月26日）

○人類社会の形成 旧石器時代

ーはじめにー

町田 勝則

○秋季企画展「諏訪と武田氏」

ー神長官守矢家を中心にー

内城 正登

第7回（11月30日）

○地域・集団・まとまり

石丸 敦史

○松代城本丸石垣群の築造について

白沢 勝彦

第8回（12月21日）

○満蒙青少年義勇軍研究における教育会史料及び館蔵資料の活用とこれからの課題

ー海外移民送出を支えた社会基盤の考察からー

大森 昭智

○資料研究 吉田 博《写生帖No.17》
 —「日本アルプス写生旅行」再考

林 誠

第9回（1月25日）

○明治・大正期長野県における公文書管理体制復元の試み
 —史料学的アプローチから—

花岡 康隆
 水澤 教子

○火焰型土器の製作地を考える

第10回（2月22日）

○近世出土陶磁器から城郭・城下町を考える
 ○シンボルとは～古代から現代まで続く表現の歴史～

中野 亮一
 柴田 洋孝

第11回（3月15日）

○松本藩における江戸時代後期の水防絵図と治水政策について
 ○中学校の清掃活動について

小野 和英
 河野 智枝

3 時代別研究会

(1) 令和4年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原 始		町田 勝則 飯島 公子	鶴田 典昭 石丸 敦史	
古 代 中 世		柴田 洋孝 黒川 稔	水澤 教子	村石 正行 鈴木 実
近 世		小野 和英 河野 智枝 小林 寿英	白沢 勝彦	花岡 康隆
近現代	中野 亮一	林 誠 内城 正登		大森 昭智

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたって収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なもの

については優先的に対応する。

- (d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。
- (e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。
- (f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

2 展示資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和4年	0	0	0	0	0

(2) 製作・購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈

なし

(4) 寄託

なし

(5) 修復

・掛け時計

3 考古資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和4年	0	0	0	0	0

(2) 購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈・寄託の内訳

なし

(4) 保存処理・修復・科学分析

- ・館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。
- ・当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。
- ・長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委員会への必要な技術協力を行った。

項 目		内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管
木 器	保存 処理	大型 木器等 PEG処理 槽一括 処理	・ P E G 法※1	第37シリーズ (A槽) 〈川田条里遺跡A〉	147	完了	当館
		第38シリーズ (D槽) (石川条里遺跡他)		324	継続	当館	
		小型 木器	パラロイドB72		12	完了	当館
		トレハロース法			4	継続	当館
		完 了 合 計			159		
金 属 器	保存処理・修復			佐久市野火附遺跡鉄器	4	完了	当館
				長野市松原遺跡出土鉄器	1	完了	当館
	赤外線観察			社宮司遺跡出土土器・漆紙	3	完了	当館
				旧小諸宿本陣『 墨書板材 』	1	完了	小諸市教育委員会
				摩利支天石祠内『 木 札 』	1	完了	阿智村教育委員会
金 属 器	X線透過透過観察			明科廃寺・徳高古墳群出土および 旧南安曇教育会寄贈の金属器	54	完了	安曇野市教育委員会
				飯田市西浦遺跡出土 青銅鏡	1	完了	長野県埋蔵文化財センター
				下諏訪町ふじ塚遺跡出土 銭貨	92		
				坂城町上五明遺跡出土 鉄器	35		
				長野市長沼城跡 鉄器・青銅器	50		
				油井中屋敷遺跡出土 鉄器	14	完了	軽井沢町歴史民俗資料館
				合 計			246
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等の問合せへの回答					20件	15	市町村・県埋蔵文化財センター

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集

- ア 行政文書 1,818 冊
- イ 行政資料 230 冊（長野県の行政刊行物等）
- ウ 県報 124 件（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月分 製本）

② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定会議 実施なし

③ 整理数・整理作業

- ア 整理数 行政文書 1,739 冊
行政資料 267 冊
- イ 整理作業 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

④ 公開

- ア 行政文書 なし
- イ 行政資料(2020・2021 年度分) 356 冊
- ウ 県報(令和 3 年 1 月～12 月) 8 件(124 冊)

⑤ 行政利用（県職員等による行政文書の利用）2 件 29 冊

⑥ その他

- ア 近代行政文書のデジタル撮影（業者委託） 55 冊(明治以前～明治 4 年)
- イ (長野県測量図)、「(明治 24 年 2 月 4 日)三州街道太田切架橋図」の修復(業者委託)

(2) 近現代資料収集・整理・保存

① 収集・整理

G51 日本測定器株式会社疎開資料（追加分）など 4 件を収集した。

資料番号		資料名
G	51	日本測定器株式会社疎開資料（追加分）
G	53	宮本家教育関係資料
G	54	長野市久保家資料
G	57	地方職員共済組合長野県支部移管資料
映像資料		信州大学寄贈現代史映像資料

目録の公開は 14 件、952 点

資料番号		資料名	点数
G	02-7	原伊市収集文書(追加分)	393 点
G	14	県立長野図書館移管資料	179 点
G	41	慶雲堡舎宮病院業務報告・他	180 点
G	42	史跡森將軍塚古墳周辺防災対策関係資料	3 点
G	43	教育資料 15 点：大正 9 年～11 年	16 点
G	44	国宝善光寺本堂図面	6 点

G	45	国指定史跡・文化財図面 上田城・開智小学校	21 点
G	46	竹鼻光雄資料：青少年義勇軍現地訓練所資料	7 点
G	47	下高井教育会満州視察関係資料	12 点
G	48	竹内家資料	28 点
G	49	伊那建設事務所旧蔵測量図	20 点
G	50	長野県信濃寮関係資料	2 点
G	51	日本測定器株式会社疎開資料	74 点
G	52	町田守衛資料	11 点

計 952 点

② 保存

ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）

継続事業 諏訪郡 486 本

(3) 古文書

① 収集（*＝概数含む） 8,768 点

文 書 名		内 容
寄贈		
佐久市長土呂神津家文書	*200 点	佐久市長土呂村の名主神津家に関わる資料 明治中期に二ツ柳村で医師を開業した春日家に関わる史料
長野市篠ノ井春日信史料	616 点	
佐久郡長土呂村角田家資料	*6,000 点	近世佐久郡長土呂村で神職をしていた角田家関係資料（村政関係、岩村田藩政関係、幕末史料など）
諏訪郡豊平郵便局関係史料	*1,000 点	諏訪郡豊平村郵便局に関わる近現代史料等 埴科郡生萱村の近世文書等
埴科郡生萱村文書	*50 点	
更級郡上山田村鹿田家史料	126 点	上山田村大鹿部落鹿田家総本家の史料類 新倉村 惣馬御改帳
諏訪郡新倉村三井家文書	3 点	
7 件	計 7,995 点	
寄 託		
水内郡上松村名主岩崎家文書	200 点	村方三役関係の近世文書等
高井郡保科村関連文書	50 点	
伊那郡大草村名主高坂家関連文書	200 点	
3 件	計 450 点	

購 入		
武田勝頼書状	1 点	天正元年に比定される武田勝頼の書状
大町宿曾根原家文書	300 点	問屋を営んでいた曾根原家に伝来した文書
越後椎谷藩関係文書	8 点	藩士が中山道板橋宿から六川陣屋（小布施）へ往来する際の先触れ文書
木曾義仲合戦図屏風	1 点	源平合戦の木曾義仲の様子を描いた屏風
木曾路名所図会	7 点	木曾路の名所旧跡を描いたもの
畔田定勝・定道・大坂陣武功記（掛幅）	1 点	松本藩松平戸田家家臣畔田家で作成された先祖の武功録および肖像画
花倉養蚕組合公文書編冊	1 点	水内郡水内村（長野市信州新町）の花倉養蚕組合に関わる水内村の行政文書
長野県更級郡水門改築工事通牒ファイル	1 点	千曲川改修附帯工事として施行された更級郡内の 3 つの水門改築工事通牒ファイル。
御本地諏訪大明神	1 点	室町物語。御伽草子。本地物。
頼方一代記	1 点	諏訪大明神御本地の一類本
渡辺千秋書簡	1 点	諏訪高島藩士渡辺斧藏政徳の子千秋の書簡
11 件	計 323 点	

②寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容
該当なし	

③ 整理（*＝継続整理中）

文 書 名	点数（点）
諏訪郡茅野村宇都宮家文書	103
伊那郡高遠町岡部家文書（村石正行収集文書）	1,438
水内郡水内村北原家文書	4,804
長野市篠ノ井春日信史料	616
佐久郡八幡宿依田家文書	4,464
水内郡中御所村篠原家文書	14
佐久郡小田井宿安川家文書	2
マッチ箱コレクション（上條信彦氏収集文書）	10
筑摩郡安曇郡地方文書（上條信彦氏収集文書）	24
安曇郡左右村西澤家文書	42
筑摩郡金井村手塚家文書	40
午札騒動顛末記	1
伊藤長七関係資料（追加）	169
諏訪郡西山田村山田家文書（上條信彦氏収集文書）	96
伊那郡石曾根村飯島家資料（追加）	215
（継続分）	
佐久郡長土呂村角田家資料	367
伊那郡大草村横前家文書	2,785

埴科郡下戸倉村坂井家文書	5,602
本池悟収集書簡資料	126
佐久市長土呂神津家文書	181
小県郡神川村尾崎家文書（盛信文庫）	2,687
石川欣一収集史料	924
信濃藩政関係史料（継続分）	8
23件 合計	24,718

④ 公開（WEBも含めて）

番号(地区・通番)	文 書 名	点数(点)
3-33	諏訪郡茅野村宇都宮家文書	103
0-28	伊那郡高遠町岡部家文書（村石正行収集文書）	1,438
9-43	水内郡水内村北原家文書	4,804
2-64	長野市篠ノ井春日信史料	616
2-32	佐久郡八幡宿依田家文書	12,464
9-47	水内郡中御所村篠原家文書	14
2-38	佐久郡小田井宿安川家文書	2
0-31	マッチ箱コレクション（上條信彦氏収集文書）	10
5-58	筑摩郡安曇郡地方文書（上條信彦氏収集文書）追加分	24
5-76	安曇郡左右村西澤家文書	42
5-78	筑摩郡金井村手塚家文書	40
7-62	午札騒動顛末記	1
0-12	伊藤長七関係資料（追加）	169
3-34	諏訪郡西山田村山田家文書（上條信彦氏収集文書）	96
4-37	伊那郡石曾根村飯島家資料（追加） （継続分）	501
0-21	信濃藩政関係史料（椎谷藩関係文書）	8
16件 合計		20,332

⑤ 収蔵文書目録22の刊行

文書番号	収 録 文 書 名
0-12	伊藤長七関係資料
0-16	栗岩英治関係資料

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	1,180 カット（継続）
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	1,180 カット（継続）

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸10回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

Ⅸ 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内および長野市内の諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、広報後にイベントなどが中止になったものもある。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	朝日新聞 八十二文化財団広報紙 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 なかの情報NEXT 4月号	2022年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 2022年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 2022年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 県立歴史館が講座 「川田条里遺跡」と「諏訪信仰」 歴史館でこどもの日 考古学講座「地震と洪水の痕跡を探る 長野市川田条里遺跡」 信州学講座「鉄鐸と諏訪信仰 人と神をつなぐ音」 2022年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」	新聞 広報紙 新聞 広報紙 新聞 新聞 新聞 フリーペーパー	インフォメーション ギャラリー 美術館・博物館での催し 信毎週間ガイド 信毎週間ガイド 信毎週間ガイド 信毎週間ガイド イベント情報
5月	千曲市報5月号 千曲市報5月号 千曲市報5月号 信濃毎日新聞 週刊長野	歴史館でこどもの日 2022年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 信州学講座「鉄鐸と諏訪信仰—人と神をつなぐ音—」 信州×本・雑誌 研究誌「長野県立歴史館研究紀要」(第28号) 「屋代遺跡群」テーマに考古学講座	広報誌 広報誌 広報誌 新聞 広報紙	インフォメーション インフォメーション インフォメーション 信州×本・雑誌
6月	千曲市報6月号 千曲市報6月号 八十二文化財団広報紙 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	信州学講座「古代信濃の仏教信仰—お寺と集落—」 考古学講座「地表下4mの縄文時代のムラを探る—千曲市屋代遺跡群—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 佐久の修験 歴史に光 信州学講座「古代信濃の仏教信仰 お寺と集落」	広報誌 広報誌 広報紙 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 美術館・博物館での催し 夏季企画展関連 信毎週間ガイド
7月	千曲市報7月号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 毎日新聞 週間うえだ 朝日新聞 中外日報 教育家庭新聞 朝日新聞 FMぜんこうじ 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞	夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 県立歴史館夏季企画展講演会 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」生出演 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 中世の地域信仰の様子を明らかにする 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」CM 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」 山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界 夏季企画展「山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界—」	広報誌 新聞 新聞 ラジオ放送 新聞 新聞 広報紙 高校野球冊子 新聞 新聞 新聞 ラジオCM 新聞 新聞	インフォメーション BLUE INFO (有料) 週間ガイド 10分間出演 情報プラザ (有料) イベントガイド 美術館・博物館での催し 長野県版 (有料) 7/9~7/18 長野県版 (有料) 週間ガイド 長野県版 (有料)

8月	千曲市報 8月号	考古学講座「県内最大の弥生時代のムラを探るー長野市松原遺跡ー」	広報誌	インフォメーション
	千曲市報 8月号	歴史館で夏休み	広報誌	インフォメーション
	信濃毎日新聞	歴史館で夏休み	新聞	週間ガイド
	朝日新聞	夏季企画展「山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー」	新聞	長野県版（有料）
	中日新聞	「天下の糸平」知って 駒ヶ根出身 田中平八 シルクミュージアム	新聞	館蔵品貸出
9月	千曲市報 9月号	燐蒸による休館	広報誌	インフォメーション
	週刊長野	考古学講座「古墳時代の祈りを探るー長野市石川条里遺跡ー」	広報紙	
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
10月	千曲市報 10月号	秋季企画展「諏訪と武田氏」	広報誌	インフォメーション
	千曲市報 10月号	秋季企画展「諏訪と武田氏」関連講演会	広報誌	インフォメーション
	読売新聞	令和4年度 秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	県内美術館・博物館情報
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	信濃毎日新聞	企画展「諏訪と武田氏」講演会	新聞	イベントガイド
	読売新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	県内美術館・博物館情報
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	八十二文化財団広報紙	秋季企画展「諏訪と武田氏」	広報紙	美術館・博物館での催し
	読売新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	読売新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	県内美術館・博物館情報
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	読売新聞	令和4年度 秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	県内美術館・博物館情報
	信濃毎日新聞	「諏訪と武田氏」	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	考古学講座「平安時代のムラを探る 塩尻市吉田川西遺跡」	新聞	イベントガイド
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	読売新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	県内美術館・博物館情報
	博物館研究 10月号	秋季企画展「諏訪と武田氏」	会報	行事報告
11月	千曲市報 11月号	近世史セミナー	広報誌	インフォメーション
	千曲市報 11月号	縄文風クリスマスリースを作ろう	広報誌	インフォメーション
	信濃毎日新聞	縄文風クリスマスリースを作ろう	新聞	イベントガイド
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	中日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	中日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
	中日新聞	秋季企画展「諏訪と武田氏」	新聞	長野県版（有料）
12月	八十二文化財団広報紙	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	広報紙	美術館・博物館での催し
	信濃毎日新聞	ティーンズ古文書講座	新聞	イベントガイド
	毎日新聞	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	新聞	情報プラザ
	信濃毎日新聞	考古学セミナー「県考古学会大会遺跡報告会」	新聞	週間ガイド
1月	千曲市報 1月号	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	広報誌	インフォメーション
	千曲市報 1月号	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」関連講座	広報誌	インフォメーション
	朝日新聞	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」	新聞	長野県版（有料）

	信濃毎日新聞 朝日新聞 読売新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 朝日新聞 読売新聞 博物館研究1月号	県立歴史館冬季企画展講座 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの― 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 江戸・大正の絵図地図が伝える 千曲川・梓川はこう変わった！ 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」	新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 会報	週間ガイド 長野県版（有料） 県内美術館・博物館情報 長野県版（有料） 週間ガイド イベントガイド 長野県版（有料） 県内美術館・博物館情報 行事報告
2月	千曲市報2月号 千曲市報2月号 読売新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 八十二文化財団広報誌 八十二文化財団広報誌 朝日新聞 中日新聞 朝日新聞 読売新聞 中日新聞	信州学講座「近世信濃国の城と城下町～発掘調査が謎を解く～」 ティーンズ古文書講座 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 2023年所蔵品展 至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 ティーンズ古文書講座 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」	広報誌 広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞 広報紙 広報紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 県内美術館・博物館情報 長野県版（有料） White INFO（有料） 長野県版（有料） 美術館・博物館での催し 美術館・博物館での催し 長野県版（有料） 長野県版（有料） 長野県版（有料） イベントガイド 長野県版（有料）
3月	千曲市報3月号 千曲市報3月号 信濃毎日新聞 朝日新聞 なかの情報NEXT 朝日新聞 博物館研究3月号 読売新聞 読売新聞 毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞	2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 親子映画会 信州学講座「近世信濃国の城と城下町～発掘調査が謎を解く～」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」 2023年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	広報誌 広報誌 新聞 新聞 フリーペーパー 新聞 会報 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 週間ガイド 長野県版（有料） イベント情報 長野県版（有料） 行事報告 長野県版（有料） 県内美術館・博物館情報 情報プラザ 長野県版（有料） 長野県版（有料） 長野県版（有料）

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞	身近な古文書から歴史上の発見！女性の喫煙 江戸では当たり前 信玄「川中島 戦費頼む」家臣への書状入手 ふじ塚遺跡の礎石経 石に込めた強い願い	コラム 記事 コラム	古文書講座 県埋文速報展

	信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 屋代有線 屋代有線 屋代有線	千曲川流域 洪水被災の遺跡 古代の生活を伝える 学芸員のおススメ!! 直刀装具に銀の文様 須坂ソニー「源流」の実相 井深さん設立 疎開軍需工場の図面発見 誓いに際して囁かれた鉄鐸 人間と神の世界 音がつなぐ 学芸員のおススメ!! 高い身分の象徴 緑釉陶器 篠ノ井遺跡群から焼き物の仏塔 仏教 地方集落まで浸透か 2022 年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 歴史館でこどもの日 信州学講座第 1 回～第 3 回	コラム コラム 記事 コラム コラム コラム 有線放送 有線放送 有線放送	考古学講座 所蔵品展 新所蔵品 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 イベント案内 講座案内
5 月	朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 若穂有線 屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 読売新聞	川中島合戦 信玄の礼状発見 古書店から購入 戦費負担の家臣宛て 県内唯一の出土 井戸枠になった舟 再利用 弥生人の知恵を技 長野 長沼城跡の考古学調査 土造りの城 復元は謎めく 戦後の「県史」編さん検討 信濃史学会の要望に県が説明 赤漆塗り堅櫓 デジタル技術で観察 精緻な内部構造 明らかに 「信濃奇勝録」と縄文中期の土器 不思議な小動物が物語る 2022 年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 2022 年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編—」 Goolight の日 ハンセン病 県公文書 2340 点 保管状況調査 個人情報記載は 143 点 ハンセン病公文書 2340 点 ネット出品問題で県調査	記事 コラム コラム 記事 コラム コラム 有線放送 有線放送 有線放送 記事 記事	所蔵品展 県埋文速報展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 企業協賛日
6 月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	「仮想復元」で地表下 4 枚の遺跡案内 広がる縄文ムラのストーリー 梓川 治水の歴史知り備えを 水害の時期に合わせて松本で展覧会 梓川の恩恵と水害 学ぼう 松本で展示「かわものかたり」 長野や松本で弥生時代の指輪出土 北陸地方から持ち込まれたか 信玄 感謝の書状 川中島の合戦 戦費負担の家臣に 満蒙開拓団員 昭和 20 年の「出陣日記」 根こそぎ動員の実態詳細に 佐久の修験道場 歴史伝える仏像 県立歴史館で企画展 瓦や建物跡 発掘調査で確認 仏教信仰の形が断片的に	コラム 記事 記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム	考古学講座 所蔵品研究 所蔵品研究 所蔵品展 限定公開 常設展示 夏季企画展 信州学講座
7 月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 FM ぜんこうじ 山梨日日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NHK 信濃毎日新聞 週刊長野 朝日新聞 NHK ラジオ NHK 信濃毎日新聞 中日新聞 中日新聞	佐久・大井法華堂の遺宝 役行者像初公開 浅間山畏れた山伏の理想像 初公開する大井法華堂の弁財天 頭上には招福の神が鎮座 山伏と佐久の修験道場紹介 大井法華堂巡る企画展 夏季企画展 山伏—佐久の修験 大井法華堂の世界— 川中島合戦時 北信濃・在地領主宛て書状 佐久の山岳信仰 ルーツ探る展示 古墳時代の金銀製アクセサリー 自分が何者かをアピール 木曾義仲合戦図屏風 記者会見 新収蔵「木曾義仲合戦図屏風」県立歴史館が公開 大井法華堂の資料展示 山伏の実態と歴史紹介 木曾義仲合戦図屏風を特別公開 長谷川信秋作 県立歴史館が購入 木曾義仲合戦図屏風 記者会見 木曾義仲合戦図屏風 記者会見 戦国時代の山伏「権現堂」 家康の使者に「口上の才覚」発揮 山城の水彩復元画 858 点 長野県立歴史館HPで公開 信玄の狼煙で地域に元氣 「武田氏と信濃」講演会	コラム コラム 記事 ラジオ放送 記事 記事 コラム テレビ放送 記事 記事 記事 ラジオ放送 テレビ放送 コラム 記事 記事	夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 新所蔵品 夏季企画展 常設展示 新所蔵品 新所蔵品 夏季企画展 新所蔵品 新所蔵品 夏季企画展 所蔵品展

	信濃毎日新聞 読売新聞	佐久を訪れた一遍上人 縁起絵に修験者 隠された物語 学芸員のおススメ!! 浅間山の鬼や天狗を調教	コラム コラム	夏季企画展 夏季企画展
8 月	屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線 中日新聞(夕刊) 信濃毎日新聞 読売新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	歴史館で夏休み 弥生時代像を変える松原遺跡 等質の集団 横につながる社会 発足 20 年 信濃の歴史を垣間見る 県立歴史館古文書愛好会 信州の民話で災害知ろう 上田で講演会とフィールドワーク 夏季企画展 山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界— 山伏と戦国大名 興味深い古文書 長野で企画展 大井法華堂 18 代・源海 熊野詣で 山伏が残した珍しい紀行文 学芸員のおススメ!! 端正な口もと 美しい微笑 「天下の糸平」知って 田中平八 愛用品など展示 大井法華堂 ほこりまみれの絵馬 躍動感 実は佐竹永海の作 駒ヶ根出身「天下の糸平」実業家田中平八 人物や活躍紹介 日本最初の鋳造貨幣・富本銭 まじない用や統治象徴の説	有線放送 コラム 新聞 新聞 有線放送 新聞 コラム コラム 記事 コラム 記事 コラム	イベント案内 考古学講座 夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 館蔵品貸出展示 夏季企画展 館蔵品貸出展示 常設展示
9 月	『Fielder』vol. 65 信濃毎日新聞 中日新聞サンデー版 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野日報 信濃毎日新聞 市民新聞 信濃毎日新聞	「山の謎」なんでも探偵団 山の神様仏様、山岳信仰って何だ? 北部と南部 2 種類の磨製石庖丁 稲作の文化形態 根幹を探る 海なし県・内陸部の魚介料理 農耕祭祀跡残る石川糸里遺跡 自ら折るリーダーの姿 想像 県史の手付かず分野 編さんへ資料整理 大正期建築 小学校の木造校舎 今は解体 当時伝える備品 仏教信仰の痕跡紹介 県立歴史館諏訪で信州学出前講座 「高盛り飯」に込めた思い 特別な日の特別なご飯 古代信濃の仏教信仰は 県立歴史館が出前講座 諏訪大社と仏教 神様と仏様 一体だった時代	月刊雑誌記事 コラム 大図解記事 コラム 記事 コラム 記事 コラム 記事 コラム	夏季企画展 常設展示 考古学講座 常設展示 信州学講座 常設展示 信州学講座 秋季企画展
10 月	雑誌『かたな旅手帖』 信濃毎日新聞 NHK 信濃毎日新聞 千曲ケーブルテレビ 屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野	長野の歴史を垣間見る 武田信玄が統治した地、諏訪の歴史とゆかりの刀剣も展示 諏訪氏と武田氏の争い 和陸に使われた諏訪の神具 秋季企画展 諏訪と武田氏 諏訪と武田氏 縁知って 県立歴史館きょうから企画展 企画展 諏訪と武田氏 秋季企画展 諏訪と武田氏 諏訪社に関わる武田信玄の文書 信濃掌握のため神事に介入 塩尻・吉田川西遺跡の平安時代 都の有力者 2 度の拠点設置 南北朝の乱世「大祝」の権威失墜 諏訪信仰 新たな神話誕生 諏訪と武田氏の関わりは 県立歴史館で企画展	記事 コラム テレビ放送 記事 千曲ニュース 有線放送 コラム コラム コラム 記事	秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 イベント案内 秋季企画展 考古学講座 秋季企画展 秋季企画展
11 月	屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 読売新聞 山梨放送 信濃毎日新聞 山梨放送 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞	秋季企画展 諏訪と武田氏 クリスマスリースづくり 諏訪明神像・諏訪神号旗 戦に加護求めた武田信玄 学芸員のおススメ!! 信玄像の定番 白髪のお姿 秋季企画展 諏訪と武田氏 松本「真光寺遺跡」頭部のみ埋葬? 戦国期「首実検」との関連 研究 秋季企画展 諏訪と武田氏 小野神社の梵鐘・宮木諏訪神社の棟札 諏訪の名跡 勝頼に強い思い 学芸員のおススメ!! 信玄ゆかり きらめく直刃 「信玄の兜」歌舞伎に浄瑠璃に 「諏訪と武田氏」語り継ぐ	有線放送 有線放送 コラム コラム テレビ放送 記事 テレビ放送 コラム コラム コラム	イベント案内 イベント案内 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 文献資料課長コメント 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展

	信濃毎日新聞 山梨日日新聞 市民タイムス	善光寺秘仏と信仰の広がり 阿彌陀如来に救い求めて 未来のため歴史に学ぶ 景観、伝承テーマに新著 伊能忠敬の測量 日誌を読み解く 県立歴史館講座	コラム 記事 記事	常設展示 出前講座
12月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 南信州新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	5, 6世紀ごろの古墳から飾り金具 金色の冠 松本平治めた証し 命懸け 満州への「勤労奉仕隊」開拓団だけでない移民の歴史 1日3食の習慣は江戸期から 重労働の農民6食の場合も 信玄の書状新たに発見 川中島の戦い巡る内容 信玄の書状、ぜひに！ 購入費募る「川中島合戦の重要資料」 信玄の書状を買い取り！ 貴重 直筆花押入り 長野県 寄付315万円目標 梶原景時 信濃に「下文」か 県立歴史館所蔵 立教大院生分析 見た瞬間これ、景時では…古文書の主 突き止めた大学院生 土器や石器使って体感 県立歴史館が出前授業 平谷小 奥信濃に本拠 市河氏の文書 領地守った武士の姿伝える 「適役」梶原景時 再評価を 愛知の顕彰会 発信奏効？ 川中島の戦い 信玄の新たな書状 購入方針の県立歴史館 分析進める 県公文書審議会 2106件「廃棄不適当」担当課や県立歴史館で保存 時代を編む 県史とわたしたち 信州を物語る史資料 消える前に 正倉院宝物に信濃からの「白布」 服飾の歴史を読み解く資料 回顧1年 2022 信仰や芸能に新たな光 川中島の戦い 新史料	コラム コラム コラム 記事 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事	常設展示 常設展示 常設展示 クラウドファンディング クラウドファンディング クラウドファンディング 所蔵品 所蔵品 お出かけ歴史館 常設展示 コメント クラウドファンディング 長野県史 常設展示 夏季企画展、長野県史
1月	信濃毎日新聞 朝日新聞 屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 週刊いよ 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	時代を編む 県史とわたしたち 記憶継承新たな形を模索 川中島での地元武士の功績称賛 信玄の書状 購入へCF KOAの日 冬季企画展同時開催 千曲川・梓川はこう変わった ウサギと竹が彫られた硯 飛騨と世界平和 新年に願う 「この花押 景時様」院生ピンと 差出人は鎌倉幕府の有力御家人 最後の高遠藩主が奉納した武具 巨額献金の見返りに配布？ 令和4年度冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 令和4年度冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 高遠藩が残した品々 一同に 県立歴史館 きょうから企画展 令和4年度冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 県立歴史館あす入館料を無料に 「KOAの日」 高遠藩内藤家と藩士の絆 時代経ても残ったつながり 千曲川と梓川 絵図で知る 流域治水と災害 来月26日まで展示 「砲架」を発明 高遠藩士・阪本天山 研究熱心「高遠の学の祖」に	記事 記事 有線放送 有線放送 コラム 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事 コラム	長野県史 クラウドファンディング 企業協賛日 イベント案内 常設展 所蔵品 冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 企業協賛日 冬季企画展 所蔵品研究 冬季企画展
2月	屋代有線 信濃毎日新聞 週刊長野 市民タイムス 屋代有線 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 NHK 信濃毎日新聞	令和4年度冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 「願稲荷」と多数の奉納品類 高遠城内祭祀の様相伝える 「高遠藩の遺産」展 県立歴史館で開催中 シルクラベル 信州学講座「近世信濃國の城と城下町～発掘調査の謎を解く」 古文書を託された図書館 高遠藩時代からの思いを継ぐ 学芸員のおススメ!! 藩主奉納品 大切に保管 県の公文書管理 進んだか 有識者審議 廃棄に歯止め 対象膨大 仕分けに限界も 冬季企画展「高遠藩の遺産―最後の藩主が残したもの―」 宮田の文化財県宝答申 千曲でPR 県立歴史館 20点展示	有線放送 コラム 記事 記事 有線放送 コラム コラム 記事 テレビ放送 記事	冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 常設展示 信州学講座 冬季企画展 冬季企画展 公文書 冬季企画展 冬季企画展

	信濃毎日新聞	掛け軸「仰之愈高 望之愈遠」 高遠に思い寄せた伊沢修二	コラム	冬季企画展
	読売新聞	学芸員のおススメ！藩校から近代教育の人材	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	時代を編む 県史とわたしたち 歩く史学継ぎけん引・一志茂樹	記事	長野県史
	信濃毎日新聞	曲折経て合併 高遠学校「人物一覧表」 まとまって歩もう 願い込め	コラム	冬季企画展
3 月	信濃毎日新聞	北信は肥前産、飯田・松本は瀬戸美濃産 陶磁器が伝える城下町の姿	コラム	信州学講座
	信濃毎日新聞	火焰と水煙二つの「縄文土器」 躍動する「生」のメッセージ	コラム	常設展示
	信濃毎日新聞	印章に見る大名の人となり 信長「天下布武」家康「無悔無畏」…	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	白馬・小谷の年貢納入命じる下文 梶原景時 従来と異なる一面	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	上田城攻め 芳ねぎらう家康の書状 屋代・室賀家 400 年以上守る	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	更級郡塩崎村 江戸時代に多数が支持 猪威勝 鉄砲は重要な「農具」	コラム	古文書講座
	信濃毎日新聞	元実習生がデザイン手伝い 県立歴史館グッズ トートバッグ販売	記事	ミュージアムグッズ

一 資料一

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	10	10	8	28
掲載	28	23	51	102
複製(資料・写真)	2	0	8	10

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレン ス件数	HP アク セス数	図書登 録数	逐次刊行 物等の登 録数
			図 書	歴史 情報	映像 情報	行政 文書	古文書	考古 資料	その他						
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7,404	58	186
5	47	7	31	4	0	1	2	0	1	36	12	16	10,221	99	98
6	240	9	171	24	0	13	13	2	17	74	226	33	8,874	115	82
7	262	11	203	19	0	15	14	6	5	80	50	28	9,218	103	66
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	9,343	125	49
9	60	9	37	15	0	5	4	0	3	23	68	14	7,897	137	45
10	234	9	183	15	0	16	15	2	2	77	106	35	7,611	125	52
11	103	34	85	4	0	0	0	0	4	4	6	20	7,382	113	43
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6,072	128	43
1	49	8	41	2	0	0	0	0	6	11	102	9	7,643	137	54
2	312	14	238	16	0	17	23	5	18	91	678	32	7,273	113	34
3	206	37	138	4	0	16	31	3	9	74	272	24	6,894	200	99
計	1,513	131	1,127	103	0	83	102	18	65	470	1,520	232	95,832	1,453	851

III 利用者

令和4年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		地域展		利用者 計
	観覧者 数	日数	観覧者 数	日数	受講者 等数	日数	閲覧者 数	日数	受講者 数	日数	閲覧者 数	延べ 日数	
4	1,863	26	1,686	26	1,051	27	0	0	18	1	0	0	4,618
5	3,275	25	2,902	25	1,623	30	47	7	275	6	0	0	8,122
6	4,895	26	2,070	11	1,386	25	240	26	120	3	0	0	8,711
7	3,229	27	2,388	20	473	13	262	24	55	1	0	0	6,407
8	1,904	25	1,690	17	425	11	0	0	112	4	5,708	44	9,839
9	1,707	17	0	0	271	10	60	7	254	5	0	0	2,292
10	2,306	26	2,426	20	367	9	234	26	232	9	228	16	5,793
11	2,919	24	2,861	17	193	5	103	3	164	6	2,143	30	8,383
12	557	23	0	0	108	3	0	0	140	6	523	26	1,328
1	917	24	927	15	717	14	49	6	0	0	0	0	2,610
2	1,003	22	1,322	22	480	17	312	22	108	4	0	0	3,225
3	1,114	23	657	11	854	20	206	23	136	5	884	57	3,851
計	25,689	288	18,929	184	7,948	184	1,513	144	1,614	50	9,486	173	65,179
					・出前講座を除く ・埋文センター 速報展を含む				・p55、56 出前 講座に同じ				

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061
令和4年度	25,689	18,929	19,048	1,513	65,179
合計	1,339,585	880,346	390,532	214,842	2,825,305

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数

企＝企画展

季＝季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	－
夏企	古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－	7/18～8/23 32日	5,950

秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23	33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4～5/9	33日	9,866
夏企	信濃名宝展 一鎌倉時代の文化財一	7/16～8/22	38日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 一江戸時代 信濃の科学技術一	10/9～11/14	32日	7,321
考古資料特別公開	運動する縄文土器・里帰りした信州の出土品一重文新指定時代田町川原田遺跡出土品とその周辺一	1/15～2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 一同に生きた人びとの記録一	7/22～8/27	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち 一信濃古道をたどる一	10/5～11/12	34日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12～1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29～7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20～9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう 一十九世紀北信濃の文芸ネットワーク一	10/2～11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26～3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 一仮面土偶をつくった人びと一	5/25～6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 一信山育材一	7/20～9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 一信濃二十六宿と間宿一	10/5～11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 一田中平八コレクションと北信濃の雛人形一	1/25～3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん 一秘伝の寺ものがたり一	5/16～6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ一伝えたい古人の心と技一	7/15～8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展一風化させてはならない歴史一	9/27～10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 一唱歌・童謡のふるさと信州一	9/27～11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 一石の時代の槍と斧一	1/10～2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 一子どもの祝い一	1/10～2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り 一古代のまつり一	5/22～6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 一街道を行き来した人・物・文化一	7/17～8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 一義仲から幸村まで一	10/2～11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1～1/16	14日	462
冬季	天下の糸平ゆかりの雛人形 一横浜を目指した信州の生糸商人たち一	1/29～3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 一GHQ接收刀剣の輝き一	5/21～6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの「縄文伝説」一屋代遺跡群 愛と出会いの4千年一	7/16～9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語一団十郎も須磨子もやってきた一	10/1～11/13	38日	8,877
特別公開	六角木桶 極楽浄土への道しるべ	11/19～1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 一身だしなみとよそおい一	1/28～3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代一神津墓・米山一玖波遺跡資料を中心に一	5/19～6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 一時代を駆けた草莽たち一	7/22～8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち 一信州の一五年戦争一	9/30～11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ 一新指定長野県宝と歴史館のお宝一	11/25～1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見一長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19～7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 一私の城下町一	7/21～8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島2007 一新発見考古速報展一	9/1～9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13～11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8～1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 一雛人形と郷土の人形一	1/26～3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る 一縄文から近世まで一	5/24～6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何？安曇郡・清水家文書の350年	7/19～8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25～11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ 一長野県宝と歴史館のお宝一	12/13～3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰一流転と遍歴の動化一	4/11～6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 一歴史を記録した先人たち一	8/1～9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う 一信州弥生文化の確立一	9/26～11/23	50日	8,896

冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諏訪地域の“いのり”と“まつり”ー	12/12～2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り [沖縄戦から65年]	5/29～7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31～8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺ー古代に創建された松本平の二つの寺院ー	9/18～11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちから 墨書土器から新聞の時代までー	12/11～2/27	61日	2,741
平成23年度 春企	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28～7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23～9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまでー	9/23～11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10～2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10～5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26～7/16	45日	8,871
夏季	「戦争と宣伝」 阿智村ポスターが語る	7/28～9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展 八ヶ岳山麓の名作	9/15～11/4	44日	6,871
	〃 後期展 千曲川流域、土器1万年の旅	11/10～12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12～3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29～8/18	45日	4,608
	ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー			
秋企	刃が語る信濃ー武器、象徴、そして芸術へー	9/14～11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23～1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州ーパンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉ー	2/1～3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21～6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美ー信濃の歴史を彩る名品たちー	6/14～7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26～8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19～8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断ー信長・秀吉・家康の時代ー	9/27～11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展 デコボコかざりのはじまり	11/29～2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆくー信濃と北陸をつなぐ道ー	(4/1)～5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30～7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945ー疎開・動員体験と上原良司ー	7/25～9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史ー発掘された木製品、樹木信仰のみる3万年の歴史ー	10/3～11/29	49日	6,570
冬企	地図の「明治維新」ー残された明治初期の町村地図ー	12/19～2/28	58日	2,838
巡回展	埋蔵文化財センター速報展 長野県の遺跡発掘2016	3/12～6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄道の軌跡ー	7/9～8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝ー文化の十字路口ー	9/17～11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー	12/17～2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18～(3/31) 12日		973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1～6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー	7/8～8/28	46日	3,089
秋企	縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器ー流れるもようと区画もようー	9/16～11/26	61日	7,727
冬季	田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新	12/16～2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17～(3/31) 12日		606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1～6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか！ー水辺の出会いー	6/16～7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石 先史社会の石材獲得と流通	9/15～11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行男展	12/15～2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019「長野県の考古学 時代を映す「匠」の技」	3/16～(3/31) 13日		858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1～6/23	73日	12,117
夏季	長野県立歴史館の名品	7/6～8/18	39日	3,840

秋企	戦国 小笠原三代 長時・貞慶・秀政	9/7～10/14 33日	5,049
特別企画	土偶展前期展 国宝土偶～縄文文化の多様な個性～	10/26～11/10 16日	15,041
特別企画	土偶展後期展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～	11/23～2/2 57日	4,127
春季展	長野県の考古学2020「長野県の考古学 いのちをつなぐ技と交流」	3/14～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 -信州と北部九州-	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折-伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	3/13～(3/31) 16日	888
令和3年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	4/1～6/13 63日	5,590
夏企	青少年義勇軍が見た満州-創られた大陸の夢	7/10～8/22 38日	4,858
秋企	全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-	9/18～11/23 55日	8,562
冬企	郷愁の画家 丸山晚霞 -師友とその時代	1/15～2/27 37日	2,371
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	3/19～(3/31) 11日	781
令和4年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	4/1～6/12 62日	6,658
夏企	山伏-佐久の修験 大井法華堂の世界-	7/9～8/21 37日	4,078
秋企	諏訪と武田氏	10/8～11/20 37日	5,287
冬企	高遠藩の遺産-最後の藩主が残したもの-	1/14～2/26 37日	2,249
所蔵品展	至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編	3/18～(3/31) 11日	657

ミニ展示	「県歌 50 年」 作詞家「浅井冽の書を見る」	965 人 26 日
ミニ展示	「信州の野球史 夏」	996 人 32 日
ミニ展示	「平成とともに歩んだ歴史館」 (ポスター展)	1,121 人 50 日
ミニ展示	「掘るしん 2021」 (長野県埋蔵文化財センター速報展)	774 人 6 日 (3/13～5/9 のうち 3/31 までの実績)
ミニ展示	「掘るしん 2022」 (長野県埋蔵文化財センター速報展)	656 人 11 日 (3/19～6/12 のうち 3/31 までの実績)

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書・逐次刊 行物 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763

25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282
3年度	2,418	85	147,336	2,030	29,222	0	379,745	14,734
4年度	2,418	0	150,618	2,304	29,222	0	395,971	16,226

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品がある。令和4年度時点で保存処理済(PEG処理等)の点数は、32,992点があり、当館第2収蔵庫で収納している。

※平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

※文献史料数は、整理を終了した確定数であり、必ずしも受入数とは一致しない。

一日誌

- 4月 1日(金) 新型コロナウイルス感染症長野圏域警戒レベル5(最大警戒)発出中のため、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止継続
- 30日(土) 考古学講座①
- 5月 5日(木) 歴史館でこどもの日
- 7日(土) 信州学講座① 笹本特別館長
- 24日(火) 警戒レベル引下げに伴い、閲覧室・閲覧業務再開(4/1～閉鎖44日)
- 26日(木) 長野県博物館協議会総会・研修会(須坂市)
- 28日(土) 古文書講座上級①
- 6月 2日(木) 北信越博物館協議会(福井県 ～3日)
- 4日(土) 信州学講座②、古文書講座中級A①
- 5日(日) 古文書講座初級A①
- 9日(木) 古文書講座初級B①・中級B①
- 10日(金) 全国公文書館長会議(web)
- 11日(土) 企業協賛 Goolightの日(入館無料)
新収蔵資料特別公開「武田晴信書状」
- 12日(日) 所蔵品展「至宝の名品ー学芸員のイチオシ 考古資料編ー 大地からのメッセージ」終了
同時開催「掘るしん2022 長野県埋蔵文化財センター速報展」終了
千曲市科野のムラお田植えまつり(入館無料)
- 18日(土) 考古学講座②
- 23日(木) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(茅野市)
- 25日(土) 古文書講座上級②
- 7月 2日(土) 信州学講座③、古文書講座中級A②
- 3日(日) 古文書講座初級A②
- 6日(水) 全国博物館館長会議(web)
- 8日(金) 夏季企画展「山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー」オープニングセレモニー
- 9日(土) 夏季企画展「山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー」開始
- 12日(火) 長野県総合教育センター研修
- 14日(木) 古文書講座初級B②・中級B②
- 16日(日) 夏季企画展講演会①(高埜学習院大学名誉教授)
新収蔵資料特別公開「木曾義仲合戦図屏風」(～24日)
- 19日(火) 夏季企画展連携講座①(佐久市)
- 21日(木) 令和4年度県立歴史館資料委員会
- 23日(土) 古文書講座上級③
- 26日(火) 夏季企画展連携講座②(当館)
- 28日(木) 令和4年度県立歴史館資料調査員会議
- 29日(金) コロナウイルス感染警戒レベル5発出に伴い、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止
- 30日(土) 県立歴史館古文書愛好会20周年記念講演会(山本信州大学教授)
- 8月 4日(木) 令和4年度県立歴史館歴史館協議会
古文書講座初級B③・中級B③
- 6日(土) 古文書講座中級A③
- 7日(日) 古文書講座初級A③
- 11日(木) 歴史館で夏休み
- 13日(土) 考古学講座③
- 18日(木) 博物館実習開始(～30日)
- 20日(土) 夏季企画展講演会②(徳永岡山大学准教授)
- 21日(日) 夏季企画展「山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー」終了
- 26日(金) 考古資料保存処理講習会(千曲市)
- 27日(土) 古文書講座上級④

- 9月 1日(水) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館展示論」(当館)
 3日(土) 古文書講座中級A④
 4日(日) 古文書講座初級A④
 5日(日) 全館燻蒸(常設展示室)のため休館(～15日)
 16日(金) 燻蒸終了に伴い、開館
 17日(土) 信州学出前講座 in 諏訪
 22日(木) 古文書講座初級B④・中級B④
 23日(金) 警戒レベル引下げに伴い、閲覧室・閲覧業務再開(閉鎖38日)
 24日(土) 考古学講座④、古文書講座上級⑤
 10月 1日(土) お出かけ歴史館 in 南箕輪
 古文書講座中級A⑤
 2日(日) 古文書講座初級A⑤
 6日(木) 古文書講座初級B⑤・中級B⑤
 7日(金) 秋季企画展「諏訪と武田氏」オープニングセレモニー
 8日(土) 秋季企画展「諏訪と武田氏」開始
 遺跡探訪会(新型コロナウイルス感染症対応のため中止)
 9日(日) しなの鉄道開業25周年イベントパネル展示(屋代駅)
 13日(木) 県立歴史館古文書愛好会探訪会(飯山・長野)
 15日(土) 秋季企画展講演会①(笹本特別館長)
 22日(土) 信州学出前講座 in 箕輪
 27日(木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会②(当館)
 29日(土) 古文書フォローアップ講座(上級・中級)
 30日(日) 古文書フォローアップ講座(初級)
 お出かけ歴史館 in 上久堅
 11月 3日(木) 開館記念日・千曲市将軍塚まつり(入館無料)
 5日(土) 考古学講座⑤
 警戒レベル5発出に伴い、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止
 12日(土) 秋季企画展講演会②(二本松静岡文化芸術大学教授)
 16日(水) 全国博物館大会(高知県 ～18日)
 19日(土) 信州学出前講座 in 大桑
 20日(日) 秋季企画展「諏訪と武田氏」終了
 26日(土) 特設考古学講座①
 イベント「クリスマスリースづくり」
 12月 1日(木) 中央日本3県連携文化財交流パネル展示開始(～18日)
 3日(土) 近世史セミナー
 6日(火) お出かけ歴史館 in 大桑
 16日(金) お出かけ歴史館 in 木曾
 クラフト・ファンディング 型ふるさと信州寄付金「川中島合戦における武田信玄(晴信)書状
 購入プロジェクト」記者会見(県庁)
 21日(水) お出かけ歴史館 in 平谷
 24日(土) 特設考古学講座②
 「江戸・大正の絵図地図が伝える 千曲川・梓川はこう変わった!」パネル展(～2/26)
 1月 13日(金) 冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」オープニングセレモニー
 14日(土) 冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」開始
 考古学セミナー①
 21日(土) 企業協賛 KOAの日(入館無料)
 資料特別公開「伊勢物語」ほか飯島家文書(～22日)
 特設考古学講座③
 22日(日) KOAの日関連 上伊那教育連合児童来館
 絵図地図パネル展 展示解説①
 25日(水) 警戒レベル引下げに伴い、閲覧室・閲覧業務再開(閉鎖62日)
 26日(木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会③(当館 ～27日)
 28日(土) 冬季企画展講座兼信州学講座④(大澤伊那市教育委員会学芸員)
 2月 2日(木) 県教育長視察

- 3 日 (火) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館経営論」(当館)
- 5 日 (日) 絵図地図パネル展 展示解説②
- 16 日 (木) 令和 4 年度博物館等関係職員研修会(当館 長野県教育委員会主催)
- 17 日 (木) 令和 4 年度博物館等関係職員研修会(当館 長野県博物館協議会主催)
- 18 日 (土) 冬季企画展講座兼信州学講座⑤(小池宮田村教育委員会学芸員)
- 19 日 (日) 考古学セミナー②
絵図地図パネル展 展示解説③
- 21 日 (木) 信州知の連携フォーラム(県立美術館)
- 26 日 (日) 冬季企画展「高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー」終了
絵図地図パネル展 展示解説④・終了
県立歴史館古文書愛好会総会・講演会
- 28 日 (火) 収蔵庫点検のため休館(〜3/3)
- 3 月 3 日 (金) お出かけ歴史館 in 開田
- 11 日 (土) 信州学講座⑥
- 17 日 (金) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編
ー読めなくても面白いー」オープニングセレモニー
- 18 日 (土) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編
ー読めなくても面白いー」開始
同時開催「ほるしん 2023 長野県埋蔵文化財センター速報展」開始
- 19 日 (日) 親子映画会(21・23・24 日も実施)
- 24 日 (金) ティーンズ古文書講座(〜29 日)

長野県立歴史館年報 第25号 2022年度（令和4年度）

2023（令和5）年 5月30日発行

編集・発行 長野県立歴史館
〒387-0007 千曲市大字屋代 260-6
TEL 026-274-2000（代表）
FAX 026-274-3996
